

令和3年度

八尾市市民活動支援ネットワークセンター
運営に係る業務報告書

<資料編>

特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク

3.資料編【図・表・調査】

(1)中間支援業務

①情報収集・情報提供業務

【ア】 多様な主体による社会貢献活動に関する情報収集

○ 各種活動団体の情報の収集

No.	日付	開催場所	収集内容
1	4月23日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>谷口 恋 氏(アトリエさんかく)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経歴 (現在 31 才) <ul style="list-style-type: none"> ・ ご実家が飲食店を営む。中学生の時に解体工事の現場を見たことや、実家の飲食店の手伝いを通じて、大人の働く姿を見て 15 才でもものづくりを行うことを志す (当時、勉強は嫌だった)。 ・ 高校や専門学校でインテリア関係を学ぶ。建築や木工の視点を加え内装・小物・照明器具・椅子等が存在する「空間」や「時間」にも興味を抱き、20 才の時に工務店に就職する。 ・ 若干 25 才で設計事務所を立ち上げ独立。若年層が設計事務所を立ち上げることは珍しく、当時は生計を立てるのが難しかった。 ・ 当時は自宅が飲食店だったこともあり、二足の草鞋として昼は二級建築士として設計事務所の経営・仕事を、夜は調理師免許を活かして飲食店に勤めた。2 年間、二足の草鞋を履き続け、現在は設計事務所で生計を立てられるようになり、昨年 6 月に法人化も果たす。 ● 谷口さんが思う「ものづくり」とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的な「ものづくり」は物を作ることを指し、固体の物質に着目しやすい。また「モノづくり」の場合は、製品つまり生産物に対して付加価値を吹き込むことを指す (新しい開発方法を考える・より良いサービスを取り付けること等)。生産物が形あるものであれば製造業、形のないものはサービス業になる。 ・ 谷口さんが思う「ものづくり」は「モノづくり」の概念に近い。その概念をさらに大きく考え、例えば、製造業の物だけではなく、飲食業の食べ物も含まれる。そして、物を取り巻く空間や時間を加えた生活の概念も含めて「ものづくり」と表現されていた。 ・ 谷口さんは、「当たり前を疑いながら」を常に意識して創意工夫をしながら価値を提供していこうとされている。 ・ 例えばガラス製のコップがあるとして、水を入れると飲む機能や価値がある。それを水ではなく土を入れて植物を植えると植木鉢の機能や価値が生まれる。身近な物でも機能を超えて、大きな概念で見ることで違う発想・価値が見えてくると考えておられる。先の例は大きな概念では器であり何を入れるか使用するかで名称が変わる (付加価値が生まれたことで物の名前になる)。 ・ 谷口さんの「ものづくり」において、「斬新」ではなく「残心 (心に残る)」になるように常に心掛けている。 ● 新しい取組み「集合施設アトリエさんかく」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 谷口さんが思う「ものづくり」を「集合施設アトリエさんかく」で表現をしている。 ・ 名称の由来は、当たり前を疑いながら、ものづくりの価値として、突き抜けた価値をそれぞれが持つために「さんかく」とされた。 ・ 個々の店舗では、店舗間の連携や相乗効果が起きにくい点と、街の方がもっと気軽に立ち寄ってほしいをコンセプトに、衣・食・住をひとつの空間に存在する場を設け、最終的には心・身体健康という大きな概念で価値を提供しようと試みている。 ・ 食は飲食を提供し、衣は衣類や小物、住は空間に加えハンドメイド (委託) を提供している。健康では 5 月にサウナを設ける予定。 ・ 衣食住にこだわったのは、東日本大震災で被災された方のお話を聴くと、津波にのまれた後、始めにずぶ濡れになった身体に衣服をまとい、次に食べ物を探し確保して、最後に家に帰りたいという、人の欲求が生まれる順序を知ったからである。 ・ 「集合施設アトリエさんかく」の建築物は昭和初期に出来た。自分達でリノベーションを行い、昭和初期を感じる裸電球を取り入れながら、化粧材を使わず下地材で内装を仕上げた。自分達で DIY を行った時に、街の人も手伝ってくれた。 ・ 現在、社員・アルバイト・学生・お手伝いの方を含め総勢 10 名程度で運営をしている。 ● 「80 (はちまる) サービス」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画を制作している。経緯は、コロナ禍で飲食店に何かお助けできることはないか考え、「集合施設アトリエさんかく」周辺にある良く行く飲食店の動画撮影からスタートをした。 ・ 実家が飲食店を営んでいたこともあり、飲食店舗を開けられない辛い気持ちだが、自分自身も実感できるからであった。 ・ 写真撮影や動画撮影はプロに頼んでいる。また音楽を動画に挿入する方もいる。自身で編集を行い、完成した動画を Facebook で投稿している。1 人でも多く飲食店に来店して欲しい。 ・ もっと飲食店に直接支援をしたかったので、自ら 30 万円分を投じて 1 枚 1,000 ヤオ=1,000 円と決めて、近隣の飲食店で使えるギフト券として 300 枚を配布された (やると決めて 1 週間で実施された)。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ● 最後に「活動の秘訣」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「遊ぶ時の知恵が生きる知恵」になること。山登りや麻雀など趣味を通じて、新しい発想や企画が思い浮かぶ。 ・ 子どものときに長瀬川でザリガニを取りに行った頃をお話しされた。 <p>この1年は感謝の一年にしたい。</p>

No.	日付	開催場所	収集内容
2	6月16日	FM ちゃお「情報ブラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>竹元 紀子 氏(環境アニメイティッドやお 代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2年前の収録内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動に関わるきっかけやこれまで活動してきた下記の活動に触れた。 ① 子どもエコクラブ「エコロジー美園小」 ② 八尾北高校でのビオトープ活動 ③ コットンロード・中環の森での活動 ④ 環境アニメイティッドやおでの活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この度、環境アニメイティッドやおの代表就任により出演。 ・ 就任までの経過をお聴きした。 ● 環境アニメイティッドやおに参画した経過(2014年) <ul style="list-style-type: none"> ・ 2014(平成26)年に八尾北高校で開催した「環境活動交流会」(主催:環境アニメイティッドやお)に参加したことが携わるきっかけとなった。同日の午前中は八尾北高校で「八尾北ビオトープ&食文化体感」に携わり午後から同会場の八尾北高校で開催されたことで参加しやすく「環境活動交流会」に参加できた。それまでは環境アニメイティッドやおのことは知っていてもどの様な活動をしているか知らなかった。 ・ 同年3月に環境アニメイティッドやおに入会し、翌月の定期総会に参加した。その時に感じたのは、自分自身はこれまでの美園小学校区を中心に地域に根差した活動や人間関係が中心であったが他の小学校区や他の活動主体(市民活動団体・事業者・行政・教育機関)の方々と出会ったことにとっても驚き、また様々な学びを得られることを体感した。 ● 運営委員就任までの経過(2015年~2016年) <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015(平成27)年1月に「環境アニメイティッドやお10周年記念」の式典・交流会があった。たくさんの方と出会うことが出来たが、市民の参加が自分一人だけだったことに気付く。 ・ 機関紙「河内の風」の「e-column(イーコラム)」コーナーに寄稿することがきっかけになり、2016年1月から広報委員に就任する。 ・ 環境アニメイティッドやおの運営委員に女性の参加が非常に少ないことから、2015年8月に運営委員会にオブザーバー参加をし、運営委員に就任する(石黒美喜氏が急逝した事もあり就任)。 ・ 「一緒に企画から携われるから楽しめそう!」と思い「ハイ!」と言い続けてたら、あれもこれも携わるようになり、「いきいき八尾環境フェスティバル」も実行委員として携わることにもなった。 ● 副代表就任までの経過 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2017(平成29)年に環境アニメイティッドやおの活動趣意書に記載している設立者3者の内の1者であり、長年副代表を務めた「シャープ株式会社 健康・環境システム事業本部」が会社の事情により退会する。 ・ 同年、副代表に大抜擢される。 ● 代表就任までの経過と組織改革(世代交代) <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境アニメイティッドやおが2002年12月に研究会を発足し、また2004年12月に八尾市の協議会として設立して早19年目、協議会としては17年目になる。 ・ 設立当初から携わるメンバーの高齢化に伴い運営者や活動する方々の世代交代を行う必要性があった。ただ前代表が退任を検討していた頃にコロナ禍になり、タイミングを図ることが難しかった。さらにコロナ禍により従来通りの運営や「いきいき八尾環境フェスティバル」の開催など、現状に十分対応しきれないと判断し、大きく体制を変えることになった。新しい時代、再スタートを切ることになった。 ・ その中で、2021(令和3)年5月31日に今回の代表交替となった。 ・ 私は以前から「所属のない市民が、環境アニメイティッドやおの代表になってほしい。」という思いがあった。まさか自分がそのお役を担うとは思っていなかった。今後は、さらに開かれた組織を目指したい。 ・ 今年度は再出発を図るために、検討会を開き、多くの方のご意見を基に代表として皆様のご意見や想いをまとめていきたいと思う。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ▪ 当初から現在まで、環境アニメィティドやおは、校区まちづくり協議会といった地域活動団体の参画・ネットワークの形成が出来なかった。これまで私は地域活動に長年携わっていたので、地域活動団体とのつながりも形成をしていきたい。 ▪ 20代~40代のターゲット層を意識し、来年度2022(令和4)年度に再出発できるようにしていきたい。

No.	日付	開催場所	収集内容
3	7月7日	FM ちゃお 「情報プラザ やお」環境活 動のご紹介に 収録参加／ FM ちゃお	<p>三代目 赤坂兵之助氏(赤坂金型彫刻所 代表) 岡田 全也(おかだ まさや)氏 (株式会社サンエイプラテック) 【第一部】三代目 赤坂兵之助氏 (赤坂金型彫刻所 代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 赤坂金型彫刻所とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾市にある事業者。金型を造る、彫刻を行う。祖父が和歌山県から「彫仏師」に憧れ、戦前に大阪府に修行に出て行く。戦後は「ものづくりが戦後の復興になる」と祖父は確信していた。元々は仏具や欄間、記念コインなどの彫刻を生業としていた。 ・ 射出成型によりものを製造するために金型を製作する(成型屋)。 ※ 射出成型(しゅしゅつせいけい)：金型を用いた製品の成型方法。主に合成樹脂等の材料を熱で溶かし、金属の金型内に流し込み目的のものを成型する。溶かした樹脂を金型内に送り込むことから注射器で液体を注入することに似ているため「射出成型」と呼ばれる。(出典：インターネット「モノマド」) ● 祖父が生み出した「赤坂式半月彫刻法」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 祖父は、不慮の事故で左手から先を失ったが、退院した日に失った左手に合う義肢をつくり彫刻を行った。 ・ 左手を失い彫刻の元になる刻印(金属の印鑑)が掴めなくなった。義肢での彫刻作業はスムーズには出来ず左手の負担が大きかった。 ・ その事から彫刻を続けるため試行錯誤し力を入れずに切削(せつさく：刃物を用いて不用部分を切りくずとして削り取る)する手法や今の半月一枚刃につながる鑿(たがね)の切先の調整方法を編み出した。 ・ その編み出した技術を「赤坂式半月彫刻法」と言う。 ※ 半月一枚刃：丸棒を半分に切り落として先端を尖らせて刃をつけることで、切れ味が鋭く、切りくずが付着しにくい。金属だけでなく樹脂の切削加工にも非常に有効である。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 父は塾の先生をしていたが、祖父の想いや執念である「赤坂式半月彫刻法」を継承し、2代目を引き継いだ。 ・ 手作業で行う「赤坂式半月彫刻法」にIoTの融合技術で最新鋭のコンピュータ制御による緻密な加工技術で作成した商品をブランド「cocur(コクール)」として制作・提供をしている。 ※ IoT：Internet of Thingsの略称。「モノのインターネット」と訳され「モノがインターネット経由で通信する」ことを意味する。従来のパソコン等のIT関連機器の接続から、スマホ・タブレットへと接続端末が広がったようにモノ(デジタル情報家電)をインターネットに接続する流れが増加している。(出典：インターネット「モノワイヤレス株式会社」) ● 三代目襲名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤坂氏は子どもの時からものづくりが大好きで、小学校の時から仕事場でものを作っていた。 ・ 仕事として携わり、ものづくりの才能を発揮していたが、工業用の半月一枚刃の刃を研ぐ技だけは、父や祖父を超えることができなかった。製品や素材に合わせて刃を研ぐ技術も身に付いたことで、三代目を襲名することになった。 ● 生分解性プラスチック(PLA：ポリ乳酸)を使用する思い <ul style="list-style-type: none"> ・ 祖父が「彫仏師」に憧れ、戦後は祖父の技術が工業や産業分野に求められ、ものづくりが戦後の復興に大きく貢献する中、コインなど金属成形する「プレス型」に携わり、アメリカからの樹脂(プラスチック)の輸入で、「射出成型」に従事する。 ・ 15年以上前から、プラスチック素材が海中に流れ込み、海中生物を死に追いやるなど様々な環境破壊を人間は行い、世界中で話題になった。昨今も再注目され世界各国が環境対策を打ち出し始めた。 ・ 赤坂氏は、2015年12月に東京八重洲で開催されたセミナーに参加し、生分解性プラスチックの第一人者とお話をして、様々な事をお教えたいただいた。 ・ プラスチックが地球を汚しているから、今の30代以下の若者たちは天寿を全うできない環境下になるだろうという話を第一人者からお聴きした。 ・ また、2005年に「自然の叡智」をテーマとして、「愛・地球博(2005年日本国際博覧会)」が愛知県で開催された。その時に、生分解性プラスチックがブームになったが、生分解性プラスチックの四重苦(熱に弱い、もろい、流れにくい、コストが高い)で日本での普及が出来なかった苦い歴史を知る。 ・ でも生分解性プラスチックの四重苦を個性・特徴だと思って、活用できる商品を考えている。現在はプラスチックが生分解される(二酸化炭素と水に分解する)利点を生かして骨壺で活用できないか考えている。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ・ その中で、地球を汚すと言われるプラスチックを二酸化炭素と水に分解する生分解性プラスチックに転換していく事で地球環境の保全や人類が生きて行く環境づくりとして、取り組める最後のチャンスだとご本人は考えておられる。そして、私達世代が最初で最後の世代として2030年以降の地球環境保全の舵取りを今取り組みたくて、弊社の「赤坂式半月彫刻法」の技術と射出成型による生分解性プラスチックの製品作りに着手した。 ・ そんな時に岡田 全也氏に会う。 ※ 「プラスチックが生分解される」とは、自然界に存在する微生物の働きでプラスチックが二酸化炭素と水に完全に分解されることを指す。（出典：インターネット「三菱総合研究所 生分解性プラスチックの課題と将来展望ページ」） 【第二部】岡田 全也（おかだ まさや）氏（株式会社サンエイプラテック） ● 株式会社サンエイプラテック <ul style="list-style-type: none"> ・ 8年前に会社を設立。それまでは保育園で保育士をしていた。その事もあり、小規模保育園の経営も当法人が行い、プラスチック射出成形等の事業と保育施設運営の事業を堺市北区で展開している。 ● 三代目 赤坂兵之助氏との出会い <ul style="list-style-type: none"> ・ BNI で出会った。その場で赤坂氏からお話をお聞きし、シンプルに面白いと思った。そこからはまりだし、堺市第二創業促進支援事業に参加し、二代目としてどのように継承しようと思っていた時だったので、生分解性プラスチック（PLAN）に取り組みたいと思った。 ※ BNI：世界最大級のビジネス・リファーマル組織。リファーマルとは推薦・紹介・委託という意味があり、主には紹介を指す。アメリカ発祥で、2006年にJBN インターナショナル株式会社が34カ国目として日本に拠点を設置。経営者の参加が多い。（出典：インターネット「BNI Japan」） <ul style="list-style-type: none"> ・ 生分解性プラスチックは手探りだった。また時代が地球環境の保全に切り替わって来ている。時代の後押しもあり、自分のやっているのは間違いのないと思った。 ● 生分解性プラスチックの製造時の特徴と製造に対する社員の反応 <ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック樹脂の射出成型をしているが、製造時には石油系は臭いにおいがする。一方、バイオマス由来のでんぷんと乳酸で生分解性プラスチックを製造する時は、甘いにおいがする。 ・ 地球にとって嬉しい事だからと社員もそう思っているので、同意を得やすく取組みやすかった。舵を切ろうと思ひ、子ども達に地球環境の保全を伝えたいと思った時に、堺市教育委員会から「企業による学びのプログラム」についてお声がけをいただき、小学校へ出前授業をする機会をいただいた。 ※ バイオマス：エネルギー源として利用できる生物体、またそれらの生物体をエネルギーとして利用することを意味する。バイオマスは、太陽エネルギーによる光合成によって、自らを創り出すことのできる植物体であり、エネルギー源として利用できることから再生可能なエネルギー資源である。（出典：インターネット「日本バイオマス開発株式会社」） ● 小学校での出前授業と子ども達（児童）の反応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校では4年生から5年生にかけて社会科の授業でSDGsを学んでいて、地球温暖化や二酸化炭素の排出など環境保全についてとても受け入れてくれる。 ・ 児童は率直に核心に迫った質問をする。例えば「プラスチックは、なぜなくならないのか。」という究極の質問をする。ごまかさずわかることを児童に答えている。 ・ 出前授業ではプラスチックの環境負荷のお話をしているが、プラスチックの必要性を認める中で、どのように環境負荷を減らしていけばよいかを伝えている。また、静電気でナノプラスチックが集まり、PCBという毒性になる危険性があることやプラスチックは分解をしないので、燃焼する以外にプラスチックを消す方法がないことも伝えている。 ※ PCB：Poly Chlorinated Biphenyl（ポリ塩化ビフェニル）の略称。ポリ塩化ビフェニル化合物の総称であり、その分子に保有する塩素の数やその位置の違いにより理論的に209種類の異性体が存在する。中でも、コプラナーPCB（コプラナーとは、共平面状構造の意味）と呼ばれるものは毒性が極めて強くダイオキシン類として総称されるもの一つとされている。（出典：インターネット「中間貯蔵・環境安全事業株式会社」） ● 小学校での出前授業時に子ども達（児童）に必ず伝えていること <ul style="list-style-type: none"> ・ 海・花を見てきれいなのは、当たり前ではないことを伝えている。 ・ ポイ捨てをしない、ごみを出さない。プラスチックのポイ捨てが破砕されても分解しないまま海を汚し、海洋生物を死に追いやってしまう。 ・ 歴史的に人間は地球環境を悪くして来た。だから舵を切り替えて良くしようとしてやり直しているから、自信を持って生きてください。 ・ 出前授業をした小学校から連絡があり、子ども達が校区内の街を歩いてごみ拾いを始めたとき、心が熱くなり、とても嬉しかった。

No.	日付	開催場所	収集内容
4	8月18日	FM ちゃお 「情報ブラザ やお」環境活 動のご紹介に 収録参加／ FM ちゃお	<p>サスティナミニマリスト ゆい氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「サスティナミニマリスト」とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 「サスティナブル（持続可能性）」と「ミニマリスト」を掛け合わせた本人作成の造語。 ※ サスティナブル(Sustainable)・サスティナビリティ(Sustainability) : 「人間・社会・地球環境の持続可能な発展」を意味する。サスティナブル(Sustainable)とは、本来は「維持できる」「耐えうる」「持ちこたえられる」を意味する形容詞。ただし近年は、地球環境の持続可能性、人間社会の文明・経済システムの持続可能性の意味や概念として一般的に用いられるようになる。 <p>出典：インターネット「大和ハウスグループ」ホームページ 「What's Sustainability?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★「サスティナブル」の概念変遷をまとめたページとして要参考。 ※ ミニマリスト：持ち物をできるだけ減らし、必要最小限の物だけで暮らす人。自分にとって本当に必要な物だけを持つことでかえって豊かに生きられるという考え方で、大量生産・大量消費の現代社会において、新しく生まれたライフスタイルである。「最小限の」という意味のミニマル(minimal)から派生した造語。 <p>出典：インターネット「コトバンク」ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 2010年以降の世界・日本での広がり、共有・断捨離との共通点、物へ対する人々の考え方、生き方の変化も要約している。 ★ 参考：インターネット「【ミニマリストでスッキリ暮らす】上手なものの選びのコツと5つの方法」では、背景・断捨離との違い、取組み方法などを紹介。 ● ミニマリストのきっかけと道のり <ul style="list-style-type: none"> ・ 元々はズボラな性格で物に溢れ、片付けが出来なかった。 ・ きっかけは、引越し前の段ボール梱包にうんざりし、引越し後も梱包した段ボールから物を取り出さずに生活が出来ることに気付く。断捨離を始め、物を整理した。また、断捨離に関するブログを読み漁り、参考にしながら、取り組んで来た。6年前からミニマリストに目覚め、物の執着を減らし、物の少ない生活に大きく変化をした。ちなみに、引越しの際は、築45年の住宅に引越しセルフリホームを行い、当初は1階からリホーム工事を行いながら、2階で寝泊まりをしていた。 ● サスティナブル生活も取り入れた中で、気付いた矛盾と進化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年からサスティナブルに目覚め出し、エコな生活を取り入れている。昨年からはバーチャルウォーター（仮想水）の観点も意識し、エコ・ビーガン（植物由来のみを摂取する食生活）を実践している。 ・ サスティナミニマリストとして、2年前からSNSのInstagramで投稿も始められた（昨年は食について、今年はエコ全般を投稿）。 ・ ミニマリストとサスティナブルを実践する中で気付いた矛盾がある。 ・ ひとつ目は、ミニマリストは必要最小限の物だけで過ごすライフスタイルであるが、生活習慣が変わると不要になった物を手放し、必要な物を作るもしくは購入し入れ替える。反対にサスティナブルは少しでも長く大切に物を使うライフスタイルである。持続可能なサスティナブルの考え方と不要な物を手放すミニマリストの考えが対立し、両方を実践する事で矛盾に気付いた。 ・ ふたつ目は、ミニマリストは捨てる際の罪悪感「心の横に置いて」という感覚になるが、サスティナブルは物を入れ替える際にごみを捨てたくない・ごみにしたくない思いが生まれ、対立・葛藤する。 ・ その矛盾を乗り越えられたのは、長い人生で見ると人生でごみを排出する総量を意識するようになる。断捨離で一気にごみを一時的に排出することに罪悪感が生まれる。しかし断捨離後のライフスタイルをサスティナブルな生活に切り替えることで、物と向き合い、自分を知り無駄買いが減る生活に改善出来れば、人生でごみを排出する総量は減らすことが出来る。そのような長い目で見ると頭も心も整理が付き「今、物を手放すと、人生でのごみの総量は減る。」という考えに進化が出来た。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ● ミニマリストの第一歩は、下駄箱・キッチンがオススメ！ <ul style="list-style-type: none"> ・ 下駄箱・キッチンなど、置く物や置き場所が決まっている所から始めることをオススメする。 ・ 反対に用途が多い物や場所は、あとで取組む事をおススメする。 ・ 断捨離や整理整頓での失敗例として、先に収納場所を増やすことや、収納ケースを増やしてしまうこと。基本的な順序があり、家にある収納ケースと収納スペースだけで、物を収めると決めてから、断捨離といった整理や整頓を行うと、物の少ない生活が定着・継続しやすくなる。 ・ ゆい氏は、「整理収納アドバイザー」の資格も取得されている。 ● サスティナブル・エコな取組み実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、ゆい氏は、湯シャン（シャンプーを使わず、お湯だけで洗髪）・肌断食（化粧水等を使わない洗顔）・服のリメイク・セルフリホーム・ごみを減らす・購入する物を減らす・中古品を活用する。これらを生活に取り入れ、定着・継続している。 ・ 新しい取組みとして、バンビーノの高山さんの紹介で、高安山麓の畑をお借りして、自然農（不耕起・無農薬・無肥料・無除草により人の手を加えずに育てる農法）を始めた。エコ・ビーガンとして菜食中心の食生活が動機となり取組みだした。また畑の土がやせているので、自然農を始めながら、自宅で排出する生ごみを庭のコンポストで堆肥化・肥料化を行うことも始める。 ・ 他出演者からの提案で、サスティナブルのまちづくりとして、近隣の方とも生ごみを共有のコンポストで堆肥化し、それを畑に活用して実った作物を還元するアイデアが話に出た。この提案で出演者全員が、地域循環の可能性につながることを共有・共通認識することも出来た。 ● 八尾市立リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」でも携わる <ul style="list-style-type: none"> ・ サスティナブルとミニマリストに取組む中、経済・生活を考えると中々仕事が見いだせなかった。その中、個人でYouTube 動画や Instagram の作成を行っていることから、そのノウハウを「めぐる」に仕事としてお願いにあがり、現在は仕事として Instagram を投稿している。とても見やすく、読みやすい Instagram である。 ・ リサイクル教室の講師としてダーニング（カシミア・ウール素材等の服の虫食い等の繕いを刺繍する）を教え、カラフルなデザインで行う繕い方法を教えている（服飾経験もあり、それが活かされた）。 ・ 個人でも Instagram と YouTube 動画の投稿・配信を行っている。 ● 「めぐる」の Instagram 投稿で心掛けていること <ul style="list-style-type: none"> ・ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）やサスティナブル・ミニマリストなどに関心の薄い方が、少しでも興味を示してもらい、スムーズに取組みがスタート出来る入口になりたいと、いつも意識をして投稿されている。 ・ 「たのしく・おしゃれに・わかりやすく」をモットーに、全ての面で知らない方に広げて行き、ターゲットを拡大して行きたい。そのような知らない方を対象に Instagram で提供をしていきたい。

No.	日付	開催場所	収集内容
5	9月17日	FM ちゃお 「情報ブラザ やお」環境活 動のご紹介に 収録参加／ FM ちゃお	<p>健康子育て支援団体 すまいる 代表 前田 智香 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設立と活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011年12月に設立（つどい登録団体への申請も同年月）。 ・ 子育て世代のお母さん達が市民活動団体を立ち上げた。 ・ 親子の居場所づくり、イベントとして物品提供やワークショップ（例示：味噌づくり・プリザーブドフラワー・アロマ）などを行っている。 ・ 親子の居場所づくりとして毎月第3金曜日に生涯学習センター「かがやき」とのコラボで「かがやきひろば with すまいる」をプレイルームで開催している。お月見や敬老の日といった季節に合わせた絵本を読み聞かせを行っている。大型絵本を図書館から借りて子ども達に絵本をめくってもらうなど、子ども達の参加も意識して読み聞かせを行っている。 ● みんなと一緒に創りあげた「わくわくまつり」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者だけでなくスタッフも楽しみつなげることを目的とし、有料のブースだけでなく、子ども達が一日楽しめるよう無料で遊べるブースや参加型の舞台なども盛り込んだ。また数年前からは、プリズムホールレセプションホールで開催をして来た。 ・ 終日会場に居る学生さんが一緒に子ども達と遊んでくれ、子育て中のお母さんが出展しやすいイベントとなった。 ・ 出展者・関係者だけで100名を超え、会場設営は主催者ではなく、ほぼ出展者・関係者が主体的に動き協力をしていただいた。 ・ 主催者が出来ないところを、出展者・関係者に助けてもらい、みんなと一緒にイベントを創りあげて来た。 ● 大人女子がトキメキ、さらに元気になる「スマイル*サロン」 <p>子育て中のお母さんはどうしても視野や生活が狭くなり、社会との接点を持ちにくくなる。お母さんが元気なら、家庭が明るく家族みんなが元気になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そこで、お母さん達から「こんなん作れるよ!」「こんなんやってみたい!」の声を聴き、主催者2人がモニター兼参加者になって、講座やワークショップにチャレンジ出来る場として「スマイル*サロン」を開催している。場所は「Café ふらここ（八尾市本町1丁目）」で実施。 ・ 子育て中の方や子育てが落ち着いた方など幅広い年代の方が一緒に集えるようゆる〜くお喋りする場として開催。 ・ 講座や、雑貨・アクセサリなどを作るワークショップやロハスを意識した「味噌まるづくり」のワークショップを行いながら、お母さん達がトキメいたり、気晴らしになったりと、さらに元気になる場を提供して、今月で丸5年になる。 ・ ワークショップのひとつに、その場でパーツを選び、即興でイヤリングを作るワークショップでは、すぐに出来上がるすごさと喜びが湧く。主催者からも参加者からも好評なので、季節の変わり目を見て半年に1回は継続して講師に来てもらっている。 ● SNSのInstagramでライブ配信：「ゆる〜く」やさしい取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年からのコロナ禍で、「わくわくまつり」の開催中止を関係者全員に一齐に連絡をしながら、個別でもていねいに連絡やコミュニケーションを取りながら、みなさんからの温かい言葉をいただきながら、「コロナ禍で何かつながれることはないか?」と思い、リモートの活用と同じようにInstagramでライブ配信を始めた。 ・ ライブ配信では、生活の知恵に関するお話や、絵本の紹介といった「やさしい取組み」を双方向でやりとりをしている。参加された方からは「声が聞けて、顔が見れてほっとした!」とコメントをもらい、ふさぎ込んでいた方へ少しでもお役に立てて嬉しかった。これからもゆる〜く参加してもらい、ラジオの聞き流し感覚で気軽に参加をしてもらっている。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ● 「スマイル*カフェ」の再開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年3月と7月に八尾市役所本館地下1階の「Pica Pica」でワークショップ中心のイベントと「Pica Pica」の食事を楽しむ両方を楽しんでもらっている。 ・ 7月は久しぶりに開催することが出来た。 ・ Instagramのライブで、可能な範囲で出展者の方に顔出しをしてもらい、イベントのPRとともに出展者同士も関係性づくりに役立てた。 ・ 「ゆるゆる」とした取組みで、カラーセラピー、アートセラピー、パステル体験、ヘッドマッサージ、フットマッサージなどを出展内容は多岐にわたる。 ● 活動をするにあたっての「モットー」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は大人向けの絵本ひろばも開催していきたい。子育て中は、子ども中心の子育てになってしまい、どうしても自分のことを大切に忘れれる時がある。 ・ そのような事を思い出してほしいという思いから「育自のための小さな魔法」というワークショップも行っており、子育て中の方はもちろん、そうでない方も、自分を大切に、それが広がって、優しい社会になればいいと思う。 ・ 活動を行うにあたって、「私たちが楽しくないと続かない。」と思っている。まずは自己満足することで、細く長く続けられると思う。だから活動にお誘いし、わくわく出来るので、人が寄って来て、お互い楽しみましょうとなる。 ● 「元を知る」ことの大切さ <ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォンの普及で、絵本を読む機会や手作りを行う機会が減り、生活の価値観の変化があらわれている。 ・ 季節を知る、手を動かして作る、ゆっくりと過ごすスローライフなど、生活の元を知る「生活自身をていねいに！」を大切にしたい。生活にメリハリもあらわれ、より生活が楽しくなると思う。そのような事も活動を通じて伝えていきたい。

No.	日付	開催場所	収集内容
6	10月24日	FM ちゃお「情報ブラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>八尾市健康推進課 辻合 悠氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出演の経過 <ul style="list-style-type: none"> ・ 辻合氏は、以前から「つどい」に来館されていた。 ・ 「環境アニメティッドやお」を「つどい」で知り、事務局（環境保全課）の新葉氏のことをお聞きしていた。 ・ 八尾市の職員となり、環境保全課とも電話でのやり取りを行う際に、新葉氏と電話上でやり取りを行っていたが、面識はなかった。 ・ 先日も「つどい」に来館された際に、新葉氏とお会いしたことがないことを知り、「つどい」はつなぎ役として、出演提案を行い、今回の出演で初めてお会いすることが出来た。 ● 八尾市の職員採用までの経過 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会にどう出ていけるか不安だったのと、就職活動に積極的に身を置けず、和歌山市で居場所づくりの活動を創り「食べていこう」と甘く考えて活動を始めたが、断念。その後、唯一受けることのできた試験が生まれ育った八尾市の市役所であった（9月に願書を出す）。 ・ 最終面接まで進んだが、補欠合格者として1次採用には至らなかった。大学院生の末として教員免許を取得していたこともあり、2ヶ月だけ支援学校の先生を明石市でされ、就職先がなかったため引き続き、学校現場で働こうと考えていた。 ・ そんな中、2月の終わりに八尾市役所から連絡があり、採用者が相次いで八尾市役所の内定を断られたことで、補欠合格者の最下位だった自分にまで職員採用のチャンスが巡り、八尾市に就職することが出来た。 ● 辻合氏の活動の原点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼少期から八尾市南高安小学校区で暮らす。当時は現在よりも周辺には農地が残っており、幼少期は良く畑や田んぼに遊びに行っていた。また祖父母が枝豆や若ごぼうの栽培を中心とする農家だった。 ・ 今を形づくる原体験は、中学校時代に自分と関わってくれた先生の人間的な関わりにある。漠然と憧れを持って大学は教育学部を志望し、縁あって和歌山の大学へ進学した。また大学時代はアメフトをしていて、2年間は素敵な仲間達と日夜練習する青春時代も過ごす。 ・ しかし、右ひざの大きな怪我で引退に至る。少しして、自分のぼんやりとした言葉にならない教育の営みについてもっと考えたいと「学校教育」ではなく「社会教育」の道に進む。そこが、自分の学生活動・市民活動・研究活動・ボランティアの原点・出発点になった。今も社会教育は自分の中に大きな存在として位置づけている。 ・ 実践にもっと触れて、言葉をもっと編んで行きたいと、神戸の大学院に進学。障害や共生という言葉、地域づくりやESDという言葉と向き合い、その言葉を体現しようと活動に邁進していた。 <p>※ ESD：「Education for Sustainable Development」の略で「持続可能な開発のための教育」と訳す。ESDとは、現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらす、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動。ESDは持続可能な社会の創り手を育む教育である。</p> <p>【出典：インターネット「文部科学省」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動の出発点は、和歌山での「わかまなび」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学3年生の時に社会教育と出会ってから、和歌山で小学校の統廃合で廃校になった和歌山県のかつらぎ町、天野地域を舞台に、地域での活動を通じて学ぶサークル「わかまなび」を立ち上げた。大学を超えて30名程度の学生が集まり、地域の人たちに学び、子ども達と遊ぶ中、みんな元気を取り戻していくみたいな活動だった。自身は、社会教育を掴めるかもしれないと思いながら、3年程主軸で携わり、現在はOB生を中心に再組織化した和歌山ユネスコ青年部の代表を務めながら、活動を応援している。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<p>※ 「オルタナティブ」とは（辻合氏の解説）：「既存の価値とは違う豊かな価値を生み出す可能性を有していること」というイメージを持っていただけると嬉しい。原語としてはイヴァン・イリイチという哲学、教育学者で、イリイチは「脱学校化社会」や「脱病院化社会」など、著作で「制度に人が依存させられ、非人間化（画一化・非主体化）していく様子を批判し、当時大きく支持を集めた。</p> <p>※ オルタナティブスクール(Alternative school)：ヨーロッパやアメリカの哲学的思想をもとに発展していったオルタナティブ教育を取り入れた学校のこと。画一的な教育ではなく、個人を尊重し子どもが本来持っている探求心に基づいて、自律的・主体的に学習や行事が展開されるようにカリキュラムが組まれていることが多いのが特徴。大人は教師ではなく、あくまでも子どもをサポートするスタッフという考えが根底にある。 【出典：インターネット「All About20th あなたの明日が動きだす」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸では、障害のある子どもを中心としたインクルーシブな居場所づくりとして、居場所「あーち」に4年前から携わる。 <p>※ インクルーシブ：「包み込むような／包摂的な」となる。「インクルーシブ」は「ソーシャル・インクルージョン」（社会的包摂）という言葉から来ており、これは「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合う」という社会政策の理念を表す。【出典：インターネット「(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)ホームページ」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 八尾に帰って来てからの活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「つどい」に顔を出すようになり、色々な方にお会いする機会をいただき、結び目が結んでいく出会いの場になっている。以前は、古民家で食べて行きたい（生計を立てたい）思いがあった時に、「つどい」で紹介してくれたのが、自宅近くにある「茶吉庵」だった。「茶吉庵」では「ビブリオバトル」のイベントに実行委員として携る。 ・ 八尾に帰って来てからは、取り立てて何かをしているわけではない。身近な活動として、「ごみが落ちていたら拾うぐらいのこと」をしている。大阪市内だが、交差点付近になぜか弁当ガラが捨てられていて、それを拾い処分もした。 ● 個人の意識の限界と社会のあり方（ごみを拾わない要因とは） <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ拾いひとつでも個人の意識の問題が指摘されるが、個人の意識にも限界があり、社会のあり方を考え、仕組みを良くする事が大切だと思う。 ・ 物事に取組む前に、少し立ち止まって考えることが大切だと思い、そんな「立ち止まる」機会をつくる社会の仕組みが必要だと思う。 ・ 忙しい方、苦しい方ほど、「立ち止まれない」という社会と一緒に良くしていく事が、環境問題にもつながっていくかもしれないと思う。 ・ ESDは、「議論（discussion）」ではなく、「対話（dialogue）」を通じて「Sustainable（持続可能）」と「Development（開発）」という、一方では「次の世代に残していく」、一方では「生産し、新しいものや価値を生み出していく」という水と油のような概念を「education for（教育の営み）」で考え合うということ。先に述べた「立ち止まる」機会をつくることに関係するが、「既存の知識を身に着ける」学び方ではなく、当たり前として学んできたことを「学びほぐしていく」（アンラーニング：Unlearning）のような学び方を通じて、個人も社会も継続的な成長を遂げていけたらと思う。 <p>（上記に関連し「社会教育には自己紹介の連続だよ。」と教えられ、自己紹介WSを開催し、「自己紹介が嫌い」という声から、対話的な営みを通じて、大切にしたいことが何か改めて認識できた体験談も辻合氏からお聴きした。）</p>

No.	日付	開催場所	収集内容
			<p>※ 「アンラーニング」(unlearning) : いったん学んだ知識や既存の価値観を批判的思考によって意識的に棄て去り、新たに学び直すこと。日本語では「学習棄却」「学びほぐし」などと訳される。個人や組織が激しい環境変化に適応して、継続的な成長を遂げるためには、いわゆる学習(ラーニング)と学習棄却(アンラーニング)という2種類の一見相反する学びのプロセスのサイクルをたえず回していくことが不可欠とされる。【出典：インターネット「日本最大のHRネットワーク 日本の人事部」】</p>

No.	日付	開催場所	収集内容
7	11月4日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>World Seed 岡見 厚志氏 八尾市リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」 藤原 ゆい氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡見 厚志氏の活動紹介 ・ 一度びんで使用した後、リサイクルされる「ワンウェイびん」が増え、ビール瓶の様に繰り返し使え循環する「リターナブルびん」の使用量が減って来ていた。 ・ 「リターナブルびん」は、洗浄し繰り返し使えるリユース活動であり、またリサイクルが不要であることから、リサイクル時に使用する際のエネルギー消費や二酸化炭素の排出がないクリーンであり、そしてエコであり、社会的意義がある。 ・ World Seed では、その意義を広めるために独自に「と、わ (To WA)」を開発・商品化をされ、現在でも奈良県を中心に洗浄され繰り返し使用されている。 ・ 環境保全の実践活動だけに留まらず、サポート・支援役というコーディネイト支援（中間支援）も意識して取り組まれており、その代表的な取組みが「天神祭ごみゼロ大作戦」である。 ・ 廃棄物の排出量ゼロを目指す「ごみゼロ」に取り組む市民活動団体は、大阪府下でも多いが、京都の「祇園祭ごみゼロ大作戦」のような市民参画でかつ市民活動団体同士が一致団結して取り組むことは、大阪府下ではこれまでになかった。 ・ また 2000 年代に市民活動として「イベント会場でのごみ分別と 3R」の実施が定着化し落ち着きを見せる中、大阪市内のイベントで一番ごみ排出量が多く、全国から露天商が集まり、町中が露店で並ぶ「天神祭」における「ごみ分別と 3R」の実施に着手する。着手にあたり、市民活動として事業実施の立上げをコーディネイト支援された。 ・ 主には 2016 年に現状調査を実施され、調査結果から取り組むべき 3R 活動として、①リユース食器・コップの導入、②エコステーションで来場者自ら分別を行う資源のリユース・リサイクル化、③会場内の清掃活動の 3 点を活動主眼に置き取り組まれた。 ・ 2017 年は天神橋～天満橋北側エリア限定で上記 3 点を実施。2018 年・2019 年は、大川を北上し毛馬橋手前のエリアまで合計 8 エリアまで拡大し実施された。 ・ 2019 年は、1.2 トンを資源化する事が出来、リユース食器約 2 万食分を提供しリユースの推進とごみ減量に成功した。また清掃活動により、祭り終了後の会場のポイ捨て・散乱ごみの抑制・意識啓発につながった。 ・ これまで市民活動が主催するイベント会場以外で、大々的に取り組まれた事で、市民活動が主催するイベントへ参加する事がない市民に大々的に啓発を行い、市民主体でごみゼロ社会を創りあげられることを魅せることが出来、多くのエコ実践者を広げる取り組みにつながった。 <p>【出典：インターネット「八尾市ホームページ」】</p> <p>※ 3R：3つのRをこころがけることで、ごみを減量することができる。①Reduce（リデュース）：ごみを出さない。②Reuse（リユース）：繰り返し使う。③Recycle（リサイクル）：再資源化する。3Rは順番も大切。まずは、ごみを出さないことが第一（リデュース）。次に、まだ使えるものは、ごみとして出さずに繰り返し使う（リユース）。それでも出ってしまったごみは分別して資源として再利用する（リサイクル）。</p> <p>【出典：インターネット「八尾市ホームページ」】</p>

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ● 藤原 ゆい氏の活動紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費社会に疑問を持ち、ミニマリストとして実践を行い、近年は環境・エコに興味を抱き、ミニマリストに加えサステナブル（持続可能性）として、「サステナミニマリスト」の名称を設け、実践中。 ・ 特に、エコ実践を気軽に始められるために、わかりやすさを大事にされ、YouTube 動画（登録数 7,000 名強）や SNS で配信をしている（インターネットでの検索で調べるよりも、Instagram で調べる人が増えていることから、Instagram での配信に力を入れている）。リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」の Instagram の配信を担っている。 ・ ごみ分別・3R が好きな人が一人でも増えればと思い、まずは自分でやってみて自分が好きになることを心掛けている。意識や空気感が伝われば嬉しい。また、もう一つ心掛けていることは、意識を外に向けるのではなく、自分に対して矢印（意識）を向けることを大切にしている。広告・ネット・SNS の各種媒体では、いいもの・キラキラするものを発信して、ついつい追いかけてしまう。過去の自分と今の自分の変化や成長などに矢印を向けることにつながる情報発信を大切にしていきたいと思う。 （藤原ゆい氏の活動紹介は、8月放送分の出演時の情報収集を要参考） ● 出演者全員でフリートーク（意見交換：ごみを出さないための暮らし方） <ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみリサイクルの取組みとして、神奈川県葉山町で誕生した生ごみ処理器「キエーロ」は画期的で生ごみが水分と二酸化炭素に分解されて固形物が消える。これまでの EM ぼかしをコンポストに投入して堆肥化する生ごみリサイクルとは異なり、堆肥活用など使用先がない方にも取り組みやすい。また日当たりや風通しなど考慮すると本当に匂いもない。 ・ 「天神祭ごみゼロ大作戦」では、来場者とのトラブルがなく、ごみ分別に協力をしてくれた。これは環境教育・環境学習を通じて市民の環境意識が全体的に高まっている。また、分別しているから、リサイクルしているからごみを排出しても良いと言う意識の方が意外に多いことに驚かされる。まずはごみが出ないようにいらぬ物はもらわないなど、次のステップに意識を高めてもらえればと思う。 ・ 京都で量り売りを提供している店舗があり、ゼロ・ウェイストマーケットとして、京都市上京区の株式会社斗々屋が展開している。またイオンで導入されている「LOOP」が提供するガラスやステンレス製の繰り返し使える容器で商品販売、容器を回収・再利用で、ごみを減らすサービスが展開されている。 ・ ごみを分けて、ごみを燃やさないという市民のエコ意識は高まっているが、エコ実践が出来る受け皿や仕組みづくりが追い付いていない。 ・ 「2:6:2」の法則は有名だが、「6」の大衆であるエコ意識が高まり、ボトムアップが進んで来た。今後も、上の「2」が引き続き、「6」に啓発を続けて、市民活動として仕組みづくりに貢献できればと思う。 ・ SNS でのやり取り・情報発信以外の啓発や公益性として、リアルな活動を行う必要性を感じている。 ・ 亡き師匠 越道が昔言っていた言葉「俺たちが、すぐにごみを収集する事で、市民にごみを忘れさせてしまった。それは俺たちのせいだ。」を思い出す。ごみを排出する時に、次の役割に向けて、分別して、気持ちよく送り出したい気持ちや意識を持ってほしい。 ・ 「ごみは汚い」という意識から「分ければ、ごみはきれい」という意識と実感する方が一人でも多く広まってほしい。 ・ ごみ分別・3R 活動は、「物を大切に作る」に到達すると思う。これは、道徳的・倫理的に加え、最近出てきている非認知能力を伸ばす事にもつながると思う。 ・ ごみを出さない生活をして、焼却ごみが週 2 日排出する曜日があるが、月一回の排出ですんでいる。エコ意識が高まると、ごみを出さなくて良いことに気持ちも楽になり、手間もいらぬ事に気づかされている。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ・ リユースびんに傷がついていることをメーカーが嫌がり、ワンウェイびんに移行した経過があるが、リユースびんの傷があるのは、それだけ何度も循環している証拠なので、そのことに理解や共感する消費者が大半だと思うので、メーカー側の意識の変化が必要だと思う。 ● 【つどい担当者独自解説】市民活動における大阪市内の3R活動の経過 ・ 天神祭を開催している大阪市内における家庭系・事業系一般廃棄物の排出量は、バブル経済に沸いた1991（平成3）年に218万トンを排出し、当時は焼却処分から分別・リサイクルに転換するのに後れを取った印象が強く、また3Rの意識が高くない市民・企業気質もあった（2018（平成30）年現在、分別・リサイクルが進み100万トン以下にまで排出量が減少）。 ・ その時代背景があっただけで、廃棄物の排出量ゼロを目指す「ごみゼロ」に取り組む市民活動団体は、大阪府下でも意外と多い。 ・ 市民活動では、「イベント会場でのごみ分別と3R」として、「特定非営利活動法人ごみゼロネット大阪」等の市民活動団体も実行委員として参画したイベント「市民フェスタおおさか（大阪城公園太陽の広場）」では、2004年からエコステーションを設け、6分別による3R活動に取り組まれた。2006年には13分別によるリサイクル化と「特定非営利活動法人地球環境デザイン研究所 ecotone」の協力による「リユース食器・コップ」を導入し、大阪市内で初めて会場内に洗浄機を搭載し洗浄することで繰り返し使用・循環するごみ減量（リユース）の取り組みを実施。結果的に社会実験にもなり、以後のリユーススタイルが、大阪府下のイベント会場（中之島フェスティバル、ワンワールドフェスティバル等）で広がりを見せ普及・定着化する。八尾市内では、2007年度の「楽しい環境活動支援金」を活用して、八尾高等学校の文化祭でも「特定非営利活動法人地球環境デザイン研究所 ecotone」の協力によりリユース食器・コップが導入された。 ・ 会場には「エコステーション」を設け、排出するごみを資源に変えるために分別のアドバイスを受けながら、来場者自らが分別に協力してもらうシステムも導入し、来場者・出展者にリユース・リサイクルの実践体験を通じて、ごみ減量の意識啓発を行って来た。 ・ 近年の「天神祭ごみゼロ大作戦」まで連続と続くこれらの市民活動は、ごみ減量の定着化に貢献をしながら、大阪における「ごみゼロ社会」の将来像をイベント会場・祭りで市民に示し、大きく貢献をして来た（2007年には長居競技場で開催された「世界陸上」でもエコステーションが設けられ、市民参画による運営が行われた）。 ・ また、これらの活動において、八尾市内で活動する市民活動団体及び若年層の協力・参画が大きく影響をしている。 ※ 一般廃棄物：「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の第2条第2項において、産業廃棄物以外の廃棄物をいう。主に家庭から排出される生ごみや粗大ごみなど（家庭系一般廃棄物）を言う。そして、オフィスから排出される紙くずなどの可燃物やレストランなどの飲食店から出る生ごみなど事業活動に伴って排出されるもの（事業系一般廃棄物）も該当する。一般廃棄物は、各市町村（行政）が処理責任を負っていて、それぞれ廃棄物処理計画に従い、収集・運搬し及び処分するとされている。 ※ 産業廃棄物：事業活動に伴って生じた廃棄物を指す。特定の業種に限定して排出される廃棄物（紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さなど）や、業種を限定せず排出される廃棄物（燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずなど）に分けられる。事業者は、廃棄物の区分に関わらず、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。「事業活動」には、自治体や学校、NPO、地域活動などの活動も該当する。【出典：インターネット「産業廃棄物許可代行なら行政書士・加藤木剛 K's office」】

No.	日付	開催場所	収集内容
8	12月2日	FM ちゃお 「情報プラザ やお」環境活 動のご紹介に 収録参加／ FM ちゃお	<p>ジュエルキッズ 阿瀬 慶子 氏 八尾市リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」 藤原 ゆい 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 阿瀬氏が環境活動を始めたきっかけは？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 楳図 かずお原作「漂流教室」を基に制作されたテレビドラマ「ロング・ラブレター～漂流教室～」で、地震が起きてなぜか砂漠同然の未来世界にタイムスリップするドラマを視聴して、その影響で地球環境に対するエコ意識を持ち始める。 ・ 子どもを授かり、小学校でのこどもエコクラブに関わった事から今日の環境活動につながる。 (阿瀬氏の活動紹介は、昨年2月放送分の出演時の情報収集を要参考) ● 藤原 ゆい氏の普段からごみを出さない実践は？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年前にミニマリストとして、ものと向き合ってきた。日常は無料でもらえるものも自分にとって必要なものかを考え、時には断る勇気を持ちながら、不要なものを家に持ち帰らない実践をしている。 ・ 自宅の郵便ポストに「ポストイング、お疲れ様です。でもチラシお断りです。」とポストに貼っておくと、チラシの投函が激減して分別の手間が減った。 (藤原氏の活動紹介は、8月放送分の出演時の情報収集を要参考) ● 出演者の片づけと掃除の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 阿瀬氏は、片付けは苦手。掃除は好きでマメ。 ・ 藤原氏は、片付けは得意。掃除は苦手ですボラ。 ● 掃除が苦手な方へ（エコに掃除をするコツも） <ul style="list-style-type: none"> ・ 専用の洗剤を購入せずに、クエン酸と重曹で掃除をする。その事で洗剤の個別購入の削減や洗剤容器の削減につながる。洗剤の管理も楽。 ・ 使い捨てを出来るだけ使用せずに掃除をしたいので、ボロボロになったタオルやフキンをウエスにして掃除に使い切る。ちなみにタオルの方が汚れは落ちやすい。 ● 掃除が好きでマメな人の日頃の掃除（気づいたら、すぐする） <ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃の調理・洗濯等の家事中に気付いた汚れは、その場ですぐに汚れを拭きとる、掃き出す。日常のちょっとした行動の積み重ねで年末の大掃除は大きな汚れが少なく、大掃除の手間・エネルギーをかけずにすむ。掃除が好きでマメだからこそこできるコツコツ掃除。 ● 名言「使い捨てがストレス」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使い捨てをなくす習慣が身に付き、使用したウェットティッシュも掃除で使う。ウェットティッシュで掃除をすると油が良く取れる。 ・ 物を大切にすることが使い切る気持ちを育む。 ● ものを捨てる時に「自分との約束をする事」「自分を知る事」の大切さ <ul style="list-style-type: none"> ・ ものを大切にすると、捨てられないというジレンマもあった。これは前々回出演した際にお話したが、廃棄でたくさんのごみが生まれるが、これは将来においてごみを生まないために生活を改める行動であり、そして捨てる事を減らすと自分自身に約束をする。その事で、人生において捨てる総量を減らすといった長期間で物事を考えるようになった。結果、自分自身の心の整理とものの整理が出来た。 ・ 整理が出来た事で、自分に必要なものは何かがわかるようになった。そのことで必要なものだけを買物することが出来るようになった。自分自身のものに対する好みもわかるようになり、自身のライフスタイルの確立が出来た。 ● 「貧乏くさいは環境に良い」 <ul style="list-style-type: none"> ・ マスクづくりでは使用しなくなったマスクのゴムを活用したりする。 ・ 「貧乏くさい」で思いついたが、食事の時に玉子かけごはんがお茶碗にといた玉子が残るので、味噌汁をお茶碗に入れてお箸でお茶碗についたといた玉子を取ると、お茶碗がきれいになって皿洗いの時に水を汚さなくなる。昔からある生活の知恵である。 ・ 登山では食事をする際に、山に水を捨てられないので、器に水を入れて器をきれいにするのは同じ行為である。だが、家庭ではその事はしていないことに気が付いた。

No.	日付	開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ● 日頃から掃除を考えて心掛けていること <ul style="list-style-type: none"> ・ ものを減らすことで、床にものを置かなくなる。その事で苦手な掃除もスボラでも掃除が出来るようになる。また、掃除道具を減らすことも苦手な掃除に対して億劫にならずに取組みやすくなる。 ● 日頃のエコ実践は経営でもある「人生の経営者は自分だと置き換えて」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃のエコ実践で、ものと向き合うことで無理・無駄・ムラがなくなることは、会社でいう在庫管理や業務の見直しにつながる。整理してみて「なくていけるやん！」の発見・気づきを得られる。不要なものを買わないことは経費の削減・家計の節約にもなる。会社で言う経営感覚は、実は家庭で育むことが出来る。家庭も会社も共通している。 ・ 経営を自分の人生に置き換えて、自分にベクトルを向けて、どんな人生を過ごしたいか（自分経営）を考えてほしい。 ・ 「なくていけるやん！」の一例として、冷蔵庫の無い生活を1年間過ごしたことがあった。夏以外は生活に支障が出る事はなかった。 ● 家族との合意形成・家族の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ものを整理して捨てることに対して、人が変わったかのように家族ひとりひとりが整理をする事に、前向きに考え取組むようになった。 ・ 家族も自分の事と向き合うこと、ただひたすらそれだけだという事に理解を示してくれるようになった。 ・ 小学生の子どもにもものと向き合うことを教えていて、少しずつ整理・整頓が身に付き始めている。 ・ 子どもの頃に整理・整頓の教育を受けてこなかった親世代から見て、子どもの時からものと向き合う教育を受けられて、とてもうらやましい。 ・ 「ごみ屋敷」に行政代執行として、ごみの撤去を行う映像をテレビで見る事がある。しかし時が経つとごみ屋敷に戻ってしまう。これは本人の意識の問題である。本人のいる・いないの意識づくりが必要。 ● ものを減らすコツは（大きなものを減らすなど） <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きなものを減らすコツとして、一旦、倉庫や納戸に保管して生活してみる事。先ほどの話につながるが「なくていけるやん！」と生活に支障が出なければ、気持ちも整理が付き、廃棄する事が出来る。 ・ 10ヶ月間、衣服のいる・いないを一着ずつ向き合ってきたが、飽きが来てしまい、あるタイミングでガサッと整理をした。 ・ ものが減り、ものが増えないために、繰り返し使えるリユース容器の必要性に気付かされる。その容器分だけものが増えるが、長期間で見るとものを減らす大切な行動である。 ● この1年の振り返りと次回以降（来年）の放送について告知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出演者及び出演者が携わる団体の話をじっくりお聴き出来た事で、情報収集として記録に出来た。非常に充実した収録の1年になった。 ・ 出演を機会に出演者自身の活動の振り返りや活動の洗い出し、目的・原点の見つめ直しにつながった。有意義な収録が出来た1年だった。 ・ 次回から「環境アニメイティッドやお」に携わって来られた前運営委員といった前役員のみなさんにスポットを当てて、ご出演いただく。 ・ これまではラジオ収録による音声で記録を残していたが、次回からは動画撮影も行い、映像でも記録に残し、YouTube 動画で配信を行う（動画撮影で緊張するかもしれないが、これまで通り雑談・フリートーク形式でのお話・収録を大切にしていきたい）。 ・ 「環境アニメイティッドやお」の協議会名称を変更する検討が、現在の運営委員で話し合われている。今後の名称変更の可能性も意識して、来月からの収録タイトルを「環境アニメイティッドやお アーカイブス」とした。このタイトルだけでも「環境アニメイティッドやお」の協議会名称を残すことも記録化の一環とした。

○ 交流会開催時の情報の収集

No.	日付	開催場所	収集内容
1	4月15日	山本コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健師による山本地区の健康状況について <ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾市保健センターの藤井氏・土井氏から特定検診で得られたデータからの傾向について情報提供があった(例示：運動・健康の意識が高い、肥満の方も多い、男女別の朝食を食べている割合に差がある等)。 ・ 参加者からは市民の状況や意識等のデータ提供もありがたいが、八尾市の健康施策に関する方向性も情報提供してもらおうことで、校区まちづくり協議会としての取り組む方向も検討したいという意見もあった。また八尾市職員がどのような思いや気持ち、やって行きたいことなども一個人としてお話をしてもらおうことも協働においての貴重な情報になると意見があった。 ○ 八尾市第6次総合計画の情報提供と「つどい」の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 別表「イ 社会貢献活動に関する情報提供」に記載した内容を提供した中で、「地域のまちづくり」として「行事開催型」から「事業実践型(課題解決型)」へシフト転換に向けて、テーマを設けた取組みを「校区まちづくり協議会」等へ「つどい」が支援することを説明した。 ・ 支援の提案として「地域資源を活用した防災」のテーマでは、6年前倒しで始まった「森林環境譲与税」の活用が八尾市議会では決まっていなが「地域のまちづくり」で活動展開する中で校区まちづくり交付金以外に「森林環境譲与税」の財源で取り組める準備をすることを説明した。 ・ 提案内容について、参加者からは、市民活動団体側で校区まちづくり協議会の立場になって、校区まちづくり協議会と協働で出来る活動をメニュー表などで作成してみるという考え・提案をいただいた。

No.	日付	開催場所	収集内容
2	6月17日	山本コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災訓練の実施検討の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 西山本：玄関に掲げる旗は全世帯の7割程度お渡しした。災害時に旗を玄関先に掲げることで安否確認をする取組みである。防災訓練を過去に行ったが、参加者がどうして増えないのかを現在分析している。防災訓練は11月に開催を予定。 ● 地区防災計画の策定・町会加入率について <ul style="list-style-type: none"> ・ 法的な要請はない、地域の能動的な動きに委ねられている。大阪市や堺市では、地区防災計画のフォーマットもある（ただしアリバイ作りになってしまう危険性もある）。 ・ 地区防災計画もそうだが、作られるのか、作りたいのか、必要なのかを地域が自治の面で考えることが大切だと思う。 ・ 大正小学校区まちづくり協議会では以前、避難所マニュアルを作成した。いざ、災害時の避難訓練をしても、マニュアルを作っただけで、マニュアルが機能せず何もできなかった。各チームで、マニュアルが機能しないことに対して、大きな声を出すチーム、改善するチーム、責めるチームがあり絵にかいた餅になった。小学校の現地で校舎やグラウンドの見取り図を持って現地を調べて作ったが、そのような結果になった。 ・ 30年前に八尾市役所に就職した当時は、八尾市の職員も八尾市在住の職員が多かったが、現在は八尾市在住の職員が減ってしまい、災害時に八尾市在住職員を小学校区で割り当てることが出来ない状況になっている。本当に在住・在勤・在学の方々が自分達で自助・共助をしないとイケない。 ・ 滋賀県草津市は町会加入率が現在も90%を維持しており、転入時の町会加入の丁寧な対応を行っているとお聞きしている。また転入者も違和感を覚えないために、祭祀・氏子等の宗教に関する部分と町会活動は切り離すように行政からも促しているとお聞きしている。 ・ 滋賀県草津市は、約30年前に八尾市の家庭ごみの5種分別の視察に行った時に、ごみ分別のお話をして町会加入につながっていることを知った。きめ細かな対応だという印象があった。 ● 近年における行政と市民・地域活動団体とのやりとりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 先日、小学校に行く校長先生から今年度も市民スポーツ祭が中止になったとお聞きした。校区まちづくり協議会の会長を担っている者として、市民スポーツ祭が中止になったことを知らなかった。 ・ 担当部局に連絡を取ったが、ホームページに公開しているので、ホームページを見て対応くださいとのことだった。協働先である地域活動団体に先に伝えてから、ホームページに公開するならまだ理解出来るが、このような今回の進め方に納得がいかないし、人として血の通わないやり方をされると、活動意欲が萎えてしまう。 ・ 地域分権の推進と八尾市は掲げている中、地域自治が萎えてしまう。この話題は、活動予算が欲しくて言っているのではなく、情報共有そのものがないと、地域で判断する事が困難になる（自治が出来ない）危険性について警告を鳴らしたい。その意味で怒りを通り越して萎えてしまった。 ● まち協・福祉委員会・自治振の情報共有事例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 南山本：まち協と福祉委員会の代表は同一人物なので、自治振の私に情報を共有してくれる。共有した情報を案件に仕分けして、各地域活動団体に対してLINEで連絡し、共有する。連絡の最後に「拡散希望」の文言があれば、各自で情報を回してもらおう仕組みになっている。LINEがない方は、別途お手紙を作成し、ポスト投函または手渡ししている。

No.	日付	開催場所	収集内容
3	8月19日	山本コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティセンターで行う生涯学習講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミセン運営協議会では、3種類の生涯学習講座(定期講座・特別講座・現代的課題講座)及び「コミセンまつり」を企画・運営をしてきた。 ・ 今年度から、3種類の生涯学習講座は八尾市の直営事業となり、内「現代的課題講座」については、生涯学習センター「かがやき」の指定管理者「八尾かがやき未来プロジェクト(代表者: ㈱小学館集英社プロダクション)」に委託した。 ・ 従来から実施の自主事業(例: 「グランドゴルフ」)は継続実施が可能。 ・ 「八尾かがやき未来プロジェクト」から松場氏が参加された。「現代的課題講座」について、校区まちづくり協議会から講師等についての情報提供や協働先があれば、ご紹介いただきたいというお話があった。 ・ 事業の直営化で「コミセン運営協議会」は、何を行っていけばよいか不透明になったように感じるという意見が参加者からあった。 ● 各校区まちづくり協議会の活動等について <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者から活動等を共有した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 上之島まち協: 当まち協では「人づくり・健康」を大きく位置付けている。また八尾市では「第4次 八尾市地域福祉計画」の計画期間になり、八尾市民の「ほっとかれへん気質」が生み出す「おせっかい」をもって、「誰ひとり取り残さない しあわせを感じる共生のまち」を目指して、地域福祉を推進していくとのこと。これにあたって、「第4次 八尾市地域福祉計画」を学ぶ講座を開催し、講師をお呼びする予定。高齢者ふれあい事業を行う。 ➢ 南山本まち協: 来年度に「わがまち推進計画」を策定することを目指している。先日、住民懇談会が開催できなかったこともあり、子育て世代向けにWSを開催した。京都から講師をお招きし、合計20名程度の参加だった。子育て世代から、予想以上に多くの意見が出て来たことに驚いたのと、子育て世代の意識の高さを感じた。9月25日に南山本小学校区校区集会所で「良い話合いとファシリテーション」に関して開催。11月28日には「集まらない減災」を行う。西山本まち協が災害時に自宅前に旗を掲げる活動を、南山本まち協でも広げて行きたい。また、マンションオーナーや管理人は、マンションに住む一人暮らしの方の状況を把握していることも知った。「わくわくプラザ」(25年以上前から実施している子ども達の週末の居場所づくりの取組み)の取組みもある。 ➢ 東山本まち協: 20年前から通学路が狭い箇所があり、幅が1か所だけ出来ていない区画がある。そのため通学路を迂回していた。文部科学省から八尾市に依頼があり、小学校の危険箇所をリスト化しており、土木管理事務所と教育委員会指導課で現地を見て回っている。 ● 他の意見・次回の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まちの達人」があるが、あまり活用がされていない。「つどい」も「まちの達人」を活かしてほしい。 ・ 7月14日に八尾市が校区まちづくり協議会対象のZoomのオンライン講座で「つどい」が講師を紹介した(講師はつどいスタッフでもある)。 ・ Zoom等のオンライン講座が好評だった事と、当ラウンドテーブルの参加者からのリクエストにより、10月はスマホでオンライン講習を行う事になった。

○ つどい井戸端会議（全て Zoom にて開催）開催時の情報収集

No.	月	収集内容
1	5月	<ul style="list-style-type: none"> ●新規参加者の自己紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の学習支援ボランティア・スクールサポーターに携わる（かつては塾でも国語を教えていた。小学校では国語・算数を担当）。 ・ 国際交流センターのボランティアを20年以上携わる。 ●参加者の取組み内容や話題（上記の自己紹介での活動に関連して） <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援学校にスクールサポーターとして携わっている。 ・ 小学校で習い方・教え方の今昔（ひっ算を例に） ・ 中学校の選択授業で短歌を教えている。中学生が短歌をつくることで、ご家庭の様子が見えてくる。また中学生の心の状態も見えてくる。中学生が短歌を通じて心の変化があらわれ、短歌を一所懸命作成する生徒もあらわれた。 ・ SALA(サーラ)：外国の子どもへいちから日本語を教える取組みがある。 ●「つどい井戸端会議」に参加して良かったこと <ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いがあり楽しい。出会った方に紹介してもらい新しい活動が出来た。 ・ 他の参加者も、自分自身が抱えている悩みと同じであることを共有出来た。また共有出来たことで安心感を得られた。 ・ 活動におけるやり方やあり方が間違っていなかったことを、参加者とお話を通じて確信が持てたこと。 ・ お話をしてみんなと志がひとつになること、それが大切だと認識した。
2	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネパールの子どもの日本語を教えている。 ・ 子どもの健診を受ける時に、保護者の乳がん健診を受けることが出来るのは、ありがたい制度だと思う。 ・ 高次能機能障害について（脳機能の疾患であること） ・ 高次能機能障害の課題解決は、理解と環境を整えることに尽きる。 ・ 八尾市社会福祉協議会が行っているファミサポについて知っている方は教えてほしい。
3	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポート八尾のお話（ファミサポの話含む） ・ 学校選択制について ・ 主催者のスマホの電池切れのため、主催者が後半不参加。
4	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数年ぶりにご参加された方が1名。 ・ Zoom だからこそ、参加がしやすいと感想をいただきました。 ・ 非認知能力の大切さ（点数・成績ではない、体験から学ぶ生きる力。見えない部分である頑張る気持ちや、過程の大切さ）。 ・ タグラグビーについて（子育てカウンセラーとして小学校で取組む） ・ フリースクールの活動家の紹介 ・ 告知「中河内障がいフォーラム」のお知らせ
5	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナムにある大学（日本語学科）の方と日本語資格と就職について ・ 市民活動に携わった経過 （市民活動に色を付けられた時代、自分の生き方を貫いただけ） （「子どもの未来のために」をモットーに） ・ 行事案内（世界は思考で変えられるの著者 東田直樹氏をお招きしたフォーラム） ・ 児童デイの移転先について（空き家活用が決定・将来の担い手を意識して）
6	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衆議院議員選挙（10/31）・政教分離について ※ 上記は市民活動が宗教目的・政治目的ではないことを考える題材とした話。 ・ 犬の保護活動・地域猫の保護活動について「八尾ねこの会さくら」の協働実例が話題 ・ 市民・当事者の意識の話題（組織の職員意識を事例に） ・ 経済システム（市場の失敗）と行政システム（政府の失敗）と協力システム（市民活動・地域活動）について ・ 移民の受け入れについて（移民の方を幸せに出来るのかと言う視点が必要では？） ・ 「八尾の芸術文化を考えるワークショップ」で得た藤野教授のお話 （但馬日記に記載されていた「異なる価値観を異なったままに、新しい共同体をつくる」という試みと、試みない未来が待っている社会問題） ・ 心・ハートから伝えられるのが、市民活動のすごさでは。 （経験が頭ではないハートから伝えることが出来、そして共感を生み出す力になるのではないか。）

No.	月	収集内容
7	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気は年齢とは関係なし（20才で糖尿発症事例、35才で心筋梗塞の事例の話）と医療技術の発達 ・ 八尾を訪れている外国人の国民性（ベトナム・ネパールの方は、みなさん大人しい方が多い） ・ 皆既月食を見ていて、参加が遅れた（参加できなかった方も） ・ ポーイスカウトでの活動状況（かつて携わっていた方が「懐かしい」と言って、行事に覗かれる方が多かったと言うお話も） ・ 学生時代応援団の副団長をしていた話（下駄にバンカラ姿） ・ 焼き鳥の話から、スズメの焼き鳥話。うさぎ・ハトを食した話。 ・ 活動紹介：こどもエコクラブ活動 ・ ひきこもりだった子が登校するようになり、修学旅行のお土産を持って来てくれた話。 ・ 1990年代から2000年までの八尾の市民活動について（伝承・記録に残す必要性）。
8	12月	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの活動報告・つどい井戸端会議に参加したきっかけ ・ 開催日の午前中に起きたニュース：大阪市北区曾根崎新地での火災 ・ ロードバイクで淡路島1周（6時間20分で一周） ・ 美しいものが苦手 ・ 参加者の友達の奥さんが、本日ご出産（初産）。おめでとの拍手 ・ こどもエコクラブで参加していた子どもと成人して再会し、大人同士で話せた新鮮さ。 ・ 「一緒に居るから楽しい・幸せ」と語る夫婦生活・家族観（不満同士は別れない、一時の嫌で別れるのはもったいない） ・ 上記の夫婦生活・家族に関する幸せの価値観を、学童保育に来ている子どもに聞かれて答えた深いおはなし（実体験を言うと子どもに伝わる）。 ・ コロナ禍で集まりたい・人に会いたい欲求が湧く。「ビデオニュース まるげきライブ」のイベントで多く方が参加されたお話も。 ・ 上記の火災における自分の身を守ることの限界、法律改正前に施行した建物に対する補填がない現状について。 ・ 子育て世帯を支援する10万円給付（振込手数料だけでも数百万円の費用がかかるのでは）
9	1月	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの活動報告・つどい井戸端会議に参加したきっかけ ●宮台真司さんが言うお話から発展して・・・「人づくり・人育て」 ●市民活動・地域活動でもあるある？「人づくり・人育て」の特徴（課題） ●社会貢献の伝播（共感の輪の広がり） ●宮台真司さんの印象 ●ボランティアへの理解 ●地域活動の世代交代 <p>※ 上記は項目を列記。各項目詳細は、つどいブログの掲載記事を参照。</p>
10	2月	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校のスクールサポーターや放課後サポーターについて ・ 市民が小学校に協力して携わるボランティアの名称が各学校で呼び名が異なることもあってか、いくつか名称がある。 ・ スクールサポーター：小学校の校長先生や教頭先生からの依頼だそうで案件があれば依頼があるそうだ。 ・ 児童指導員 ・ 児童支援員：児童指導員が講習を受けると支援員になれるそうだ。 ・ 学校支援サポーター ・ 放課後サポーター：学習も行っており、15時～16時半の時間帯だそうだ。 ※教育委員会のホームページや資料等でご確認の上、上記は参考程度にご覧ください。 ●学童について ・ 学童は学童保育と言われている。元々は小学校内に学童が設置されたが、近年は公営だけでなく民間でも学童保育を行う場所がある。 ・ 学童保育として、宿題を見てあげたり、子どもの悩みを聴くことや、親御さんの子育ての悩みを聴く事もある。 ・ 児童同士でケンカもすることがあり、その時の助言も行う。 ●PCR検査について ・ 小学校へボランティアに携わる、学童保育に携わる方々は、毎週1回PCR検査を受けている。支給されるのでありがたい。 ・ 八尾市では、定期的なPCR検査の実施を行っている。認定こども園、保育所、幼稚園等、つどいの広場、学習支援事業実施施設等の職員等が対象。 ●感想 ・ 今日自分が知らない世界である教育機関の現在の取組みを知ることが出来て、とても勉強になった。

No.	月	収集内容
7	3月	<ul style="list-style-type: none"> ●話題① <ul style="list-style-type: none"> ・ 農園のレンタルについて（南小阪合町） ・ 小阪合ポンプ場西隣の南小阪合公園の砂場が樹木の日陰になりやすいので、砂が湿気てしまう。 ・ 砂をサラサラにするコツがあるのか、八尾木第二公園の砂場掃除をしている方が今日参加していたらお聞きしたかった。 ●話題② <ul style="list-style-type: none"> ・ 南山本地区では、子育て支援の活動や拠点が、なぜかない。 ・ 子育てが落ち着いた方が子育て中の親と未就学児の事例があれば、知りたい。 ●話題③ <ul style="list-style-type: none"> ・ ウクライナ侵攻について ・ 国際交流センターについて：実習生・留学生・住民が対象で、相談や学習を提供している。 ●話題④ <ul style="list-style-type: none"> ・ 母から戦争中の話を聴いて育った事もあり、高齢者のお話を聴くのが好きである。 ・ 傾聴ボランティアを立ち上げられた方が、つどいに団体登録をされた。 ・ 代表者の趣旨に共感を持ち、自分も話を聴く立場やマネジメント面で協力したいと考えている。

○ 『「つどい」の「中環の森井戸端会議」』開催時の情報収集

項目	内容
「つどい」の「中環の森井戸端会議」開催概要	<p>① 開催日時：2022年3月30日（水）19：00～21：00</p> <p>② 開催場所：久宝園集会所 ③ 参加者数：11団体・15名</p> <p>④ 開催目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 中環の森で取り組む方々との「顔合せ」と「共通認識」を深める。 ★ 定期的な「振り返り」と「課題共有」を行い、次の活動向上につなげる。 ★ 市民主体のまちづくり（共創と共生の地域づくり）を望む「市民」を産み出す。 <p>⑤ 開催結果</p> <p>□ 共有出来た内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 子どもの参加者数の減少により、参加者が増える活動プログラムを考える必要がある。 ★ 保護者や活動団体には、活動プログラムを考える時間と機会がなかった事も共有出来た。 <p>□ 共通認識が出来た内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 高齢化等により各種団体が単独で活動を行うのは限界に来ている。その点は全団体が共通認識する事が出来た。 ★ 子どもたちの参加が増える活動プログラムづくり、各種団体が単独活動を行う事の限界については、課題共有が出来た。 <p>□ 今後の開催の必要性和準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 課題改善や解決に向かうためのアイデア等の創出を行う必要がある。 ★ 参加者全員が共通認識をさらに深め、引き続き、課題解決を話し合う必要性を意識付ける。 ★ 各種団体や個人が開催の必要性を感じてもらうように意識付けながら、年1回以上の開催につなげる。 ★ 各種団体がどのような連携や協働を行いながら課題改善や役割分担を行うか見える化する事。 ★ 将来像・あり方(夢・希望を含む)をグラフィックレコーディング等で見える化し共感の輪を創る事。 ★ 中間支援を行う主体として、校区まちづくり協議会の支援方法として総合型・補完型・支援型の支援方法を検討する材料を創り出し具体的な支援方法の検討まで踏み込んでいきたい。 ★ これから参画する方にも、仕掛けづくり等の展開につながるよう意識付けや啓発が必要。
参加者からの自己紹介と活動紹介（参加者の中から特記部分を中心に掲載）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾市内5か所で菜の花の栽培を行っている。藤保育園ではミニ太陽光発電も行った。法人として14年の活動になり、構成員の高齢化が進んでいる。 ・ 小学校のPTA部会としてエコ活動をしている。主に中環の森、八尾北高校が活動先になる。子どもが楽しめるようなプログラムづくりが出来ていないので、それを考えるのが課題。 ・ これまで河内木綿を栽培していたが数年前から河内木綿による作品づくりに専念するため、美園小学校区まちづくり協議会に河内木綿のアドプロード契約と実施主体をバトンタッチした。今回の井戸端会議は参加出来たが、これ以上活動に携わることは無理じゃないかと思っている。 ・ 八尾市内の観光ボランティアガイドを行っている。中環の森での活動に携わっているのは、河内木綿の栽培や綿繰り等の工程を見てもらうことで観光資源・観光スポットのひとつとして捉えているからである。江戸時代に、大和川の付替えによる新田開発で、河内木綿と菜の花の栽培で八尾は裕福になった歴史もあり伝統産業・農業としても伝えていきたい。 ・ これまでは東大阪市内の中環の森で活動をしていたが、活動場所の4分の3がモノレールの延伸に伴い7500坪が更地になった。それに伴い八尾市内の中環の森に活動先を移した。現在はビオトープ管理・菜の花・河内木綿の栽培や植樹活動を行っている。植樹した樹木の除伐も将来的には考えたい。クリスマスの時期は自生するツタやツルを活用してクリスマスリースも作成した。「世界一細長い博物館」と銘打って観賞用の桃の木を植え観光名所にしたい想いもある。また2025年の万博開催も契機に、八尾と東大阪をつなぐコットンロード化を通じて、様々な方々とつながりをつくりたいと言う夢もある。 ・ 中環の森は元々大阪府の小川副知事時代に、里山づくり・自然の森づくりとして、服部緑地・鶴見緑地・久宝寺緑地・大泉緑地をつなぐ中央環状線に「緑の回廊」として始まった取組みである。 ・ 小学校区内でいかに住みよくするかに取り組んでいる。河内木綿の栽培は一昨年からバトンタッチを受け、大阪府に報告書も提出している。美園小学校区は比較的若い人（中年層の意味）が活動に携わっている。 ・ 多様な主体で環境をテーマに協働促進するつなぎ役として取り組む八尾市の環境パートナーシップ協議会である。 ・ 生涯学習を促進する施設の指定管理者のスタッフとして携わる。4ヶ月間の休館を機会に、様々な活動主体とつながり、現地活動にも携わりながら共催の輪を広げたい。コミセンでの現代的課題の講座企画も担っている。

項目	内容
意見交換の内容 (特記部分を中心に掲載)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐堂東交差点付近で栽培している菜の花は食用であるため、観賞用の菜の花とは栽培時期が異なる。 ・ 江戸時代前半(元禄時代)に全国で10万人が餓死したと言われている。その時代に河内木綿で八尾は栄えている。 ・ 河内木綿の種を絞った「綿実油(めんじつゆ)」は、料亭でも使われている(八尾市内では4軒)。 ・ 江戸時代は収穫した河内木綿を金に交換したのち米に交換した。菜の花は菜種油として灯りに使用された。大和川の付替えによる新田開発は稲作地としては適さなかった。また八尾の水質は軟水の中でも硬水に近い。 ・ 小学校のPTA部会としてスタートしたのは、当時すでに小学校の第二土曜日が休みになったが、1995年頃に第四土曜日にも休みになった。活動を行う準備期間が1997年頃まで2年間あった。当時は各クラスから10人ぐらい参加があり、ひと学年で30名規模の参加があり、全学年で100名位参加者がいた時代があった。当時は保護者も企画づくりを楽しみながら参加され、そこに子どもが付いてくる事も多かった。全国的にも「親父の会」が流行していて、このPTA部会にも「親父の会」があった。 ・ 12年ほど前から携わっているが、立上げ時期のような参加者はなく、落ち着いた参加者数になっていた。子どもたちだけ参加しても、エコ活動を大人達にも知ってほしく、保護者の方々にも参加を促していた。樹木に聴診器を当てるといった保護者向け勉強会も行った事がある。土曜日は習い事が多く、中環の森での活動に参加がしにくいご家庭もあった。児童へお渡しするお手紙が唯一の広報の方法であった。 ・ 昔ほど、楽しむ大人が少なくなった。子どもの参加も少なくなった。保護者が子どもたちに体験するプログラムを考える時間が、これまでなかった。 ・ 各団体が現地ではやりとりを行っていたが、校区まちづくり協議会を通じてつながりが少しずつ生まれて来ている。 ・ 河内木綿の栽培が大変なのは、春から夏の栽培時期であるため、草刈りを行う回数が多いからだと思う(菜の花の栽培時期は冬から春なので草刈りを行う回数は少ない)。 ・ 中環の森の広葉樹のドングリがたくさん落ちていて活用したい。水路も何か活用したい。 ・ 当時、PTAの部会で活動していた保護者の方は現在も地域活動で携わっている方が比較的多い。 ・ 八尾市第6次総合計画における「共創と共生の地域づくり」において、校区まちづくり協議会は多様な活動主体や個人と一緒に、地域課題の解決・魅力向上へ向けて、「アイデア創出」「活動実践」「ふりかえり」「課題共有」といった総合的な取り組みを行う役割があることを説明した。 ・ 中環の森においても大阪府八尾土木事務所とアドプトロード契約を各種団体が個別で契約を結んでいるが、将来的には高齢化等により各種団体が単独で活動を行うのは限界に来ている事から、校区まちづくり協議会が「統合型」「補完型」「支援型」といった何らかの支援方法による協働や連携、コーディネートが必要になると思われる。 ・ 「森林環境譲与税」に関する情報及び八尾市での取り組み状況について提供があった。山崩れの防止といった森林整備等を担う人材育成、木材活用の促進、水源涵養などに関する普及啓発などで財源活用が出来る。八尾市では、財源を活用し取り組めるための具体的な計画を進めて行く予定である。 ・ 将来、校区まちづくり協議会の様な誰もが参画出来、かつ地域の自治・まちづくりを担う公益性のある主体が、森林整備等を担う市民づくり(人材育成)といった事業等で財源活用が出来るようになれば、校区まちづくり協議会の場合は「まちづくり交付金」以外の新しい財源として視野に入れる事が出来る。その事を視野に入れて昨年「つどい体験会」では、子どもたちに広葉樹の除伐体験を行ってもらった。 ・ 地域活動団体の場合、誰もが参画出来、かつ公益性を生み出す組織は、校区まちづくり協議会しかない。それが存在意義のひとつであることを説明し参加者と共有を行った。

○ 出張所、各地域の周辺施設等の訪問(7月~12月)

- ・ つどいスタッフの学習と各地域にある施設や店舗、事務所等に駐在されている方との関係づくりを目的に実施。
- ・ 7月にスタッフで話し合い担当する地域を決めて、施設訪問を実施(現在継続中)。
- ・ 7月中に訪問した施設は下表に記載。

No.	地域	訪問施設	訪問日時	訪問時担当者	つどいスタッフ 担当者
1	八尾	八尾市観光案内所	7月11日(日)	渡辺所長・吉村氏	小林・寄川・ 山下
2		みせるばやお KISSA ZEROICHI		ボランティア1名・ 武内氏(KISSA ZEROICHI)	
3	恩智	茶吉庵	7月24日(土)	萩原氏	武田
4	高安	つどいの広場 「しゃぼん」		中谷氏	
5	恩智	つどいの広場 「いとぐるま」		金森氏	
6	JR 八尾	安中新田会所跡 旧植田家住宅	7月28日(水)	安藤氏	小林・山下
7	久宝寺	だがしやほおむず	9月29日(水)	松本氏	小林・寄川
8	曙川	おうちひろば はぐはぐ☆	9月30日(木)	森田氏・前田氏	小林・寄川
9	高美南	安中人権コミュニティセ ンター	10月20日(水)	北口氏・福井氏	小林・山下
10	龍華	龍華出張所	10月20日(水)	仲谷氏・友田氏・渡辺氏	小林・山下
11	東山本	山本出張所	10月21日(木)	久保氏・黒田氏・橋本氏	小林・武田
12	曙川	えだまめっこひろば	10月27日(水)	三谷氏	小林・寄川
13	曙川	曙川出張所	10月27日(水)	前田氏	小林・寄川
14	久宝寺	久宝寺出張所	10月28日(木)	水野氏	小林・山下
15	久宝寺	アトリエウフ	10月28日(木)	多葉氏	山下
16	桂	西郡出張所	10月28日(木)	永家氏	小林・寄川
17	長池	緑ヶ丘コミュニティセン ター	10月29日(金)	梶本氏	小林・武田
18	高安	高安出張所	10月29日(金)	岩井氏	小林・武田
19	南高安	南高安出張所	10月29日(金)	安藝氏	小林・武田
20	竹漕	竹漕出張所	11月17日(水)	勝田氏・西尾氏	小林・山下
21	大正	大正出張所	11月24日(水)	田中(映)氏	小林・寄川
22	志紀	志紀出張所		鎌尾氏	小林・寄川
23	志紀	かなかな広場	12月1日(水)	井上氏・中谷氏	小林・山下
24	八尾	子育て総合支援ネットワ ークセンター「みらい」	12月9日(木)	目黒氏・古賀氏	小林・山下
25	久宝寺	からりん	12月16日(木)	スタッフ2名	小林・山下
26	八尾	こっこさん	12月23日(木)	スタッフ3名	小林・寄川

○ 八尾市関係の情報収集(11月)

- ・ 「家庭倫理の会 中河内」及び「八尾市倫理法人会」が八尾市広報・公民連携課へ、情報提供等で協力できる内容について相談に行かれ「つどい」も同席を行った。
- ・ 広報・公民連携課から左記の団体へ「出前授業や社会教育の講座等に関する情報提供のご依頼について」を情報提供された。これまで旧八尾市教育委員会生涯学習・スポーツ課が取りまとめていたが、今年度から左記の課が取りまとめる事になった。また、小中学校への出前授業が新しく加わった事や八尾市各課への照会ではなく、行政以外の主体にも的を絞って照会を行うスタイルに変更されたことも収集できた。

○ 「プリズム運営ネットワーク会議」への参加(2月)

- ・ 「プリズムホール」「FM ちゃお」「八尾市観光協会」「つどい」の4者が集う情報交流会。
- ・ 1年振りに開催し近況報告を実施。FM ちゃおの今後の取組み、プリズムホールの改修工事後の協働意識を収集。直近で旧植田家住宅に訪問時の収集情報を提供した。今後の「プリズム運営ネットワーク会議」について、情報共有の場として他のラウンドテーブルを実施する際に「プリズム運営ネットワーク会議」との関連を付けるなど連携を図ることを提案した。

解説・経過：「プリズム運営ネットワーク会議」について

- ・ 2015（平成 27）年に各専門分野に関してコーディネート機能を持つ組織・施設において、分野を越えた連携や分野間の関連を深めるために、「プリズムホール」の指定管理者である（公財）八尾市文化振興事業団が立ち上げた場である。
- ・ 「プリズムホール」「八尾市観光協会」「つどい」「FM ちゃお」（当時は、生涯学習センター「かがやき」も参画）がコアメンバーとして声がかかり、初回より「つどい」は参加している。
- ・ 組織・施設間同士の情報交換や課題を相談や共有する場として、当初は年に複数回開催された。
- ・ 2018（平成 30）年度以降は、年に 1 回開催をしている。

【イ】 多様な主体による社会貢献活動に関する情報提供

○ 交流会開催時の情報の提供

No.	日付	情報提供及び概要	情報提供の内容
1	4月15日	八尾市第6次総合計画の情報提供及び「つどい」の取組む方向性について (山本コミセンラウンドテーブル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾市第6次総合計画での「まちづくりの推進方策」として「共創と共生の地域づくり」を進めるにあたり、「共生」と「共創」の趣旨を説明。 ・ 「共創と共生の地域づくり」の推進主体として「校区まちづくり協議会」が「対話の場」や地域コミュニティの層を厚くし「各主体と連携した活動や課題解決」及び「活動の効果検証」をPDCAサイクルで実施することを説明。 ・ 「つどい」では、そのための支援を行う位置づけであることと、この20年に及ぶ「地域経営」「地域分権」での環境整備において手つかずだった「人づくり・人育て」を主眼に行うこと説明。 ・ この5年間でわかった「地域福祉」と「地域分権・市民自治」のあり方及び各種主体の役割分担を「共創と共生の地域づくり」も意識しながら、「つどい」が市民に伝え広めることを説明。 <p>※ 「地域福祉」：共助社会の実現により「行政頼りにならない地域社会づくり」をめざすこと。</p> <p>※ 「地域分権・市民自治」：行政主体から市民主体へのまちづくり（権限及び予算の移譲）を進めることで「行政任せにしない地域社会づくり」をめざすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「つどい」では「人づくり・人育て」として、また地域課題の改善・解決に向けて、これまでの「行事開催型」から「事業実践型（課題解決型）」へのシフト転換に向けて「地域猫の社会づくり」「地域資源を活用した防災」などテーマを設けた事業実践型の取組みを、校区まちづくり協議会等へ「対話の場」を設けるもしくは支援をしていきたいことを説明。
2	6月17日	スタッフ紹介及びスタッフが手掛けたイラスト及び掲載したブログ記事の紹介(山本コミセンラウンドテーブル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ つどいスタッフ武田悠氏を紹介した。3月に開催した「つどい地域猫井戸端会議」に参加した際に、つどい業務に興味を持っていたことから5月よりアルバイト雇用をした。 ・ 武田氏は各取材をブログで掲載する際に、現地取材で得た事や他のスタッフが作成した記事に対して挿絵としてイラストを手掛けてもらっている。 ・ 最近では、個人的に地域住民として山本小学校区まちづくり協議会がボランティア募集と井戸端会議開催のチラシを手掛けている。 ・ つどい業務で手掛けた最近のイラストと記事は下記の通り。 <p>★ 山本小学校区まちづくり協議会と八尾市保健師との協働に関する話し合いの取材記事のイラスト</p> <p>★ 西郡出張所職員が特殊詐欺を未然防止した取材記事のイラスト</p> <p>※上記の取材記事の情報提供も兼ねて実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラストは取材先の市民活動団体や、八尾市保健センターへ提供した。また、特殊詐欺のイラストは、つどい独自で注意喚起ポスターを作成して、挿絵として二次利用した。作成したポスターは、つどい館外掲示板に掲示をしている。 ・ 高安中学校区まちづくり協議会の広報紙の掲載内容を紹介した(児童・生徒のまち協の認知度アンケート調査)

○ 広報支援(情報発信の支援)：つどいブログ・SNS での情報発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
1	4月1日	八尾廃校 SATODUKURI BASEのキックオフイベント(取材記録)	・ 八尾廃校 SATODUKURI BASE	取材後、「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
2	4月3日	つどい体験会(取材記録)	・ 美園小学校 PTA 部会「エコロジー美園小」 ・ 特定非営利活動法人 自然環境会議八尾	取材後、「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
3	4月4日	おまつりフェア(取材記録)	・ 八尾ねこの会さくら	取材後、「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
4	4月8日	4月定例会(取材記録)	・ 特定非営利活動法人 八尾市観光ボランティアガイドの会	取材後、「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
5	4月16日	Mondo フェスタ 出演者・出展者募集	・ ヒロ・クエンドールバレー	チラシから「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
6	4月17日	定例会(取材記録)	・ 八尾ねこの会さくら	取材後、「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
7	4月18日	定例ミーティング(取材記録)	・ 八尾山の会	取材後、「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
8	5月6日	6月27日開催 八尾ねこの会さくら譲渡会と5月譲渡会中止のお知らせ	・ 八尾ねこの会さくら	チラシから「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
9	5月8日	山本小学校区まちづくり協議会新しいポスター完成のお知らせ	・ 山本小学校区まちづくり協議会	ポスターから「つどいブログ」「つどい Twitter」で発信
10	6月25日	これからの八尾の芸術文化を考えるワークショップ	・ 八尾市	チラシから「Instagram」で発信
11	6月25日	うたって！おどって！楽しいね！	・ (公財)八尾市文化振興事業団	チラシから「Instagram」で発信
12	7月7日	八尾市空き家バンク制度のご案内	・ 八尾市建築部住宅政策課	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
13	7月10日	ブログタイトル「八尾市断酒会の例会に行ってきました！」	・ 八尾市断酒会	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
14	7月13日	これからの八尾の芸術文化を考えるワークショップ取材記録	・ 八尾市魅力創造部スポーツ振興課	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
15	8月12日	みせるばやお【ワクワクワークショップ 夏号】	・ みせるばやお	チラシから「Twitter」で発信
16	9月8日	旧植田家 ZOO 宅イベントへおじゃましました！	・ 安中新田会所跡 旧植田家住宅	取材後、「つどいブログ」「Instagram」「Twitter」で発信
17	9月10日	にじのねワークショップご案内	・ 教育支援にじのね	チラシから「Instagram」のストーリーで発信
18	9月11日	yotteco におじゃましました	・ 地域コミュニティカフェ yotteco	施設訪問から「Instagram」のストーリーで発信
19	9月14日	「第5回めぐる祭り」のお知らせ	・ 八尾市立リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」	取材後、「つどいブログ」「Instagram」「Twitter」で発信
20	9月16日	【9/25(土)開催】茶吉庵ビブリオバトル#01	・ 茶吉庵ビブリオバトル事務局	チラシから「つどいブログ」で発信
21	9月19日	【情報提供】NPOのための助成金活用オンラインセミナー	・ 特定非営利活動法人きょうと NPO センター	チラシから「つどいブログ」で発信
22	9月22日	再びマッチング！【美園地区福祉委員会・民生委員児童委員】	・ 美園地区福祉委員会・民生委員児童委員	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
23	9月29日	あなただけの「聞き書きの本」をつくります！	・ やお聞き書きの会	チラシから「つどいブログ」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
24	10月14日	聖徳太子没後1400年記念イベント【聖徳太子を知ろう！in てんしば】の「学生団体はちのじ」のボランティアスタッフ参加	・ 八尾市政策企画部広報・公民連携課 ・ 学生団体はちのじ	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
25	10月21日	これからの八尾の芸術文化を考えるワークショップ第2弾	・ 八尾市魅力創造部文化・スポーツ振興課	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
26	10月28日	在宅傾聴ボランティア・ボランやお“わかば”のメンバー募集	・ 在宅傾聴ボランティア・ボランやお“わかば”	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
27	11月6日	「SDGs キッズフェス」へ取材に行ってきました！	・ アリオ八尾 ・ 八尾市	取材後、「つどいブログ」「Instagram」で発信
28	11月7日	「絵画教室 彩 アトリエ」訪問	・ 絵画教室 彩 アトリエ	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
29	11月28日	吹田市事例提供「地域自治組織運営トリセツ」「自治会ハンドブック」	・ 吹田市立市民公益活動センター	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
30	12月15日	寄稿「美園女性防災リーダーが行く“河内木綿藍染”体験レポート」	・ 特定非営利活動法人河内木綿藍染保存会	取材後、「つどいブログ」「Twitter」で発信
31	12月18日	「八尾廃校 SATODUKURI BASE」に取材に行きました！	・ 八尾廃校 SATODUKURI BASE	取材後、「つどいブログ」「Twitter」「Instagram」で発信
32	1月7日	子どもたちが体験するプログラムへのサポーター・メンバーの募集【ジェニエコ】	・ 八尾商工会議所	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
33	1月15日	記念式典につどい登録団体が参加されました！	・ 八尾市自治振興委員会・八尾市赤十字奉仕団	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
34	1月16日	八尾廃校 SATODUKURI BASE 開館日	・ 八尾廃校 SATODUKURI BASE	取材記録から「Instagram」で発信
35	1月23日	ジュニアエコノミーカレッジ説明会	・ 八尾商工会議所青年部	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
36	1月23日	八尾で絵の本ひろば広げよ会「オキナワへいこう」映画上映会と大西監督登壇	・ 八尾で絵の本ひろば広げよ会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
37	1月26日	『やお聞き書きの会』さんが講座を開催されます！	・ 生駒市市民活動推進センター ららぽーと	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
38	2月9日	嬉しいなあ～(^^)ブログでつながったボランティア【ボランやお“わかば”】	・ 在宅傾聴ボランティア・ボランやお“わかば”	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
39	2月9日	高安西小学校区まちづくり協議会と協働し、ワークショップを開催しました！	・ 高安西小学校区まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
40	2月11日	はぐくみホーム無料相談会開催のお知らせ	・ キーアセット・大阪オフィス	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
41	2月20日	「寄付型でんき」エネルギーファンディングのご紹介！	・ 高安ドッジボールクラブ	チラシから「つどいブログ」で発信
42	2月24日	出張スタッフ山本コミセンラウンドテーブル番外編 Google フォーム・QRコード講座をしました！	・ 山本小学校区まちづくり協議会	取材記録から「つどいブログ」「Twitter」で発信
43	3月2日	3/29(火)「かがやき」にて人権映画上映会が行われます！	・ 八尾市生涯学習センター「かがやき」	チラシから「つどいブログ」で発信
44	3月5日	八尾猫の会さくら、譲渡型ねこ空間オープン	・ 八尾ねこの会 さくら	取材記録から「Instagram」で発信
45	3月17日	じわじわと迫るエネルギー問題	・ 高安ドッジボールクラブ ・ NPO 法人ニッポンバラタナゴ高安研究会	情報収集・取材後「つどいブログ」「Twitter」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
46	3月18日	寄稿「八尾市医師会への感謝の気持ちを伝えるメッセージ色紙贈呈」 【八尾市医師会訪問】	・ 高安ドッジボールクラブ	寄稿から「つどいブログ」「Twitter」で発信
47	3月23日	お住いの地域のことを知ってみませんか？(^^)	・ 校区まちづくり協議会	情報収集後「つどいブログ」「Twitter」で発信
48	3月23日	【3月27日開催！】ハッピーアースデイ大阪2022 with 久宝寺 こうえんマルシェ	・ ハッピーアースデイ大阪実行委員会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」「Instagram」で発信
49	3月26日	『譲渡型ねこ空間 ころん』へおじゃましました♪	・ 八尾ねこの会 さくら	取材記録から「つどいブログ」で発信
50	3月27日	ハッピーアースデイ大阪2022	・ ハッピーアースデイ大阪実行委員会	取材記録から「Instagram」のストーリーで発信
51	3月30日	『ハッピーアースデイ大阪2022』へ行ってきました♪	・ ハッピーアースデイ大阪実行委員会	取材記録から「つどいブログ」で発信

○ 助成金情報の発信（発信ツールの主は、ブログにて実施）

No.	月	名称	応募元
1	4月	令和3年度市民活動支援基金事業助成金(ステップアップコース・つながりコース)	八尾市コミュニティ政策推進課
2		令和3年度八尾市子どもの居場所づくり事業補助金	八尾市こども若者政策課
3	5月	NPO 基盤強化支援助成「住民参加型福祉活動支援助成」	公益財団法人 SOMPO 福祉財団
4		令和3年度八尾市地域福祉推進基金事業助成金(ライトコース・アドバンスコース・チャレンジドコース)	八尾市健康福祉部地域共生推進課・障がい福祉課
5	7月	令和3年度【提案型空家等利活用促進補助金】	八尾市建築部住宅政策課
6		第25回地球倫理推進賞	一般社団法人倫理研究所
7		ブリヂストン BSmile 募金	株式会社ブリヂストン(公益社団法人 日本フィランソロピー協会)
8		TOYO TIRE グループ環境保護基金	TOYO TIRE グループ(公益社団法人 日本フィランソロピー協会)
9		あんしん生命 給付型奨学金制度	東京海上日動あんしん生命(公益社団法人日本フィランソロピー協会)
10	8月	重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成	公益財団法人 ベネッセこども基金
11	9月	子どもゆめ基金	独立行政法人 国立青少年教育振興機構
12		年賀寄付金	日本郵便
13		第17回 TOTO 水環境基金	TOTO 株式会社
14	10月	2022年度「地球環境基金」	独立行政法人 地球再生保全機構
15		2022年度 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する助成事業	公益財団法人 電通育英会
16	11月	令和4年度 住まいとコミュニティづくり活動助成	ハウジングアンドコミュニティ財団
17		経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成	公益財団法人ベネッセこども基金
18	2月	『わかば基金』2022年度募集要項	社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団「わかば基金」

○ 各活動主体が必要としている情報提供(個別対応)

No.	日付	情報提供及び概要	情報提供の内容
1	5月19日	これまでの「つどい」の取組みを FM ちゃおで情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回実施している FM ちゃお収録に参加。 緊急事態宣言中のため、ゲストをお呼びすることが難しかったことから、「環境アニメイティッドやお」と「つどい」にスポットライトを当て、これまでの取組みを情報発信した。
2	6月25日	「労働保険料 年度更新申告書」の電子申請	<ul style="list-style-type: none"> NPO 法人向けに「労働保険料 年度更新申告書」の電子申請について「つどいブログ」で体験談をまじえて掲載
3	9月5日 12日 15日 16日	八尾市主催「ライフプラン相談会及び防災・減災講座」開催情報の提供 (相談 No.2021-047)	<ul style="list-style-type: none"> 八尾市人権政策課の依頼により、過去の相談 (No.2018-031、No.2019-065) を基に、過去の催しで情報提供を行った団体及び、全つどい登録団体をデータベースから該当する団体を調べた (計42団体該当)。 相談者から開催案内ちらしの PDF データが届いてから、4日間に分けて各団体に個別でメールマガジン形式で情報提供分を作成し、電子メールを送信 (電子メールアドレスがある36団体に送信)。 電子メールアドレスの無い団体の内、前回 (2年前) の防災・減災講座に参加された団体 (1団体) へは行事開催チラシを郵送した。
4	11月	八尾市高齢介護主催の研修会に「つどいパンフレット」の配架・周知	<ul style="list-style-type: none"> 依頼があり「八尾市生活援助サービス従事者研修」の参加者に研修後の情報収集先として「つどい」を紹介したい旨があった。「つどいパンフレット」の配架を行った。
5	11月5日	つどい登録団体「地域で子育て応援隊」へ地域活動団体の現状と課題について情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 代表者は「西山本小学校区まちづくり協議会」等での地域活動にも参画されている事や当小学校区内でこども食堂を検討されている事から、地域活動団体の現状と課題について情報提供を行った。「地区自治振興委員会」「地区福祉委員会」「校区まちづくり協議会」の目的等の違い等を提供・レクチャーを行った。
6	1月7日	「つどいブログ」及び「Facebook」の掲載で説明会参加者が増加	<ul style="list-style-type: none"> 八尾商工会議所青年部主催「ジュニアエコノミーカレッジ説明会ボランティアサポーターの募集」を「つどいブログ」「Facebook」で広報を行い、計5名の参加につながった。
7	2月9日	仲間募集チラシの情報を「つどいブログ」で提供、ボランティア参画・マッチング	<ul style="list-style-type: none"> 昨年10月に在宅傾聴ボランティア・ボランやお“わかば”の仲間募集のお知らせを「つどいブログ」で広報を行った。学生からボランティアの問合せがありに印刷作業と顔合せを行うことになり、マッチングすることになった。
8	3月3日 9日 17日	コミュニティ推進スタッフから依頼(まち協チラシデザイン)	<ul style="list-style-type: none"> 「校区まちづくり協議会成果報告会 PR 動画」のチラシについてデザインのアドバイスがほしいと情報発信推進部からの依頼により打合せを実施。チラシデザイン案を作成。
9	通年 (8月・11月・2月)	「つどい紹介関連チラシ」及びスキルアップ支援資料の作成	<ul style="list-style-type: none"> ● シェアスペースチラシ (8月) <ul style="list-style-type: none"> コロナ対策による執務室の移動により、1階にシェアスペースが出来た。シェアスペースでは、ちょっとした作業や話し合いとして利用することで、他団体同士で交流が生まれ、ネットワークを広めることを目的としている。チラシ媒体としては、シェアスペースの簡易的な利用案内と認知を広めることを目的としている。 館内掲示板及びキッカケース (屋外掲示物) に掲示。Facebook ページで広報を実施。 ● つどい公式 LINE チラシ (11月) <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における非接触の施設予約システムとして作成。よりスムーズな予約システムにするためにモニターを募集し、試験的に導入した。チラシ媒体としては、つどい公式 LINE の認知とモニター募集を目的としている。館内掲示板に掲示 (配架なし) ● オンライン・スマホ講座チラシ (11月) <ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動に係るスキルアップの支援業務として、八尾市主催のオンライン講座において講師を受け持ち実施。校区まちづくり協議会の役員が対象の講座であったが、つどい登録団体にも興味をもってもらえるようチラシを作成。チラシ媒体は、つどいから提供できるオンライン・スマホ講座の認知を目的としている。 館内掲示板及び館外掲示板に掲示 (配架なし) ● ZOOM 講座資料作成 (2月) <ul style="list-style-type: none"> スキルアップの支援の業務で提供する ZOOM 講座資料を作成。各講座にあわせ必要資料を提供できるように、講座テンプレートとして作成。

- 取材時に収集した情報からイラストの作成及びイラストの提供（4月）
 - ・ 以前から、取材訪問時にブログ等で取材内容を発信しているが、今年度からイラスト作成に長けたスタッフが加わったことで、イラストを活用した情報発信を行った。
 - ・ 取材先の団体には各団体のチラシや活動説明用に活用していただけるよう、作成したイラストを提供した。
 - ・ イラスト提供：5団体(取材先4団体、つどい体験会共催団体1団体)
- 地域活動に関する情報発信(つどいブログ)（5月）
 - ・ 山本小学校区まちづくり協議会と八尾市保健士との協働に関する話合い（取材）。
 - ・ 西郡出張所職員が特殊詐欺を未然防止（取材）。
 - ・ 高安中学校区まちづくり協議会広報紙の掲載内容紹介（児童・生徒のまち協の認知度）。
 - ・ 上記の取材で作成したイラストを八尾市保健センターへ提供。
 - ・ 特殊詐欺のイラストはつどいで独自に作成した注意喚起ポスターの挿絵として活用し掲示。
- 「(2) ②ア 登録団体管理業務」で取得した SNS へのアクセス先 (URL) の情報開示(12月)
 - ・ 昨年度に全つどい登録団体対象に「登録情報更新(登録団体再確認)」を実施した際に、取得した SNS のアクセス先(URL)を「つどいホームページ」内の「つどい登録団体情報」に掲載を行うことを決めた。取得した SNS アクセス先は順次掲載(情報開示)を行う。
 - ・ SNS アクセス先の情報開示を行う事で、連絡を取りたい閲覧者が直接アクセスできることで、つながり・協働の促進を図るために実施する。また、つどい登録団体の最新の活動情報を SNS から閲覧・取得することで新たな情報提供方法として行う。
- コミュニティ推進スタッフ会議(コミスタ会議)への出席(出張所等の訪問報告と提案)(12月、3月)
 - ・ 12/21(火)に開催されたコミスタ会議に、各出張所等への訪問のお礼と訪問時に聞き取った内容や、つどいが現在取り組んでいるスキルアップ支援の事例を発信。
 - ・ Zoomでの開催であったため、つどいスタッフ2名もつどいからZoomで参加した。
 - ・ 3/8(火)に開催されたコミスタ会議にて、校区まちづくり協議会からのつどいの需要や、つどいの目指す「つどいと一緒に考え、取り組む」というあり方を共有した。
 - ・ オンラインで開催され、つどいスタッフ1名がZoomで参加した。
- 「つどいパンフレット」追加印刷(3月)
 - ・ 2018年度に完成した「つどいパンフレット」は、初版第1版目1000部印刷した。以後、毎回500部をこれまで7刷行い、第8刷目で合計4500部を印刷し配架を行って来た。
 - ・ 第8刷目のつどいパンフレットの在庫が底をついたため、細部の詳細の修正・改定を行い第2版第1刷目として500部を追加印刷した。4カ年度で累計5000部を印刷したことになる。

○ 八尾市子どもサイト「あつまれ八尾っ子！！」イベントカレンダー

5月掲載分	1件	6月掲載分	1件	7月掲載分	0件	8月掲載分	0件
9月掲載分	0件	10月掲載分	2件	11月掲載分	2件	12月掲載分	2件
1月掲載分	0件	2月掲載分	0件	3月掲載分	0件	4月掲載分	0件

○ ホームページ訪問者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	1526	1909	2089	2040	1686	1776	2002	2115	1734	1671	1502	1829	21879
2020年度	1044	1469	1653	1500	1701	1751	2154	2302	1673	2092	2336	1989	21664
2019年度	1985	2436	2219	1919	2510	2694	2116	1955	1801	2629	2070	1811	26145

○ ブログ訪問者数・閲覧数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問者数	2021年度	4922	4997	6870	3957	4666	4965	5139	4435	5206	4937	5633	5813	61540
	2020年度	6735	8156	7006	6526	9086	6465	7798	7023	6367	6116	4216	6223	81717
	2019年度	6738	9000	6596	8228	8118	7913	7982	8538	4354	7670	6959	7687	89783
閲覧数	2021年度	7951	7412	13407	7480	7081	7756	7834	6408	8260	8346	9064	9621	100620
	2020年度	12165	13784	12734	11652	16739	10204	15280	12900	10972	11404	8291	10711	146836
	2019年度	16400	21093	13898	16458	16062	15205	16897	17279	16080	14490	14089	14430	192381

②社会貢献活動等の支援業務

【ア】 社会貢献活動に関する相談

○ 相談記録（相談場所を「つどい」で実施した専門家相談及び「つどい」スタッフによる一般相談）

No.	日付	タ リ ピ ー	相談 内容	活動 主体	相談内容
1	4月1日		紹介・ 提案	市民活 動団体	学校への道徳教育として児童に劇を披露し、出向いていきたいと考えている。劇を行っている団体があれば紹介してほしい。
2	4月11日		紹介・ 提案	市民	「八尾読み聞かせの会」の講座に参加したいので紹介してほしい。
3	4月21日		助成金 情報	市民活 動団体	市民活動支援基金事業の募集チラシが届き、応募するか検討している。10年以上前に助成金事業をさせてもらった事はあるが、当時との違いや変更点等があれば教えてほしい。
4	4月22日	●	助成金 情報	市民活 動団体	昨年度、妊産婦対象にフラワーセラピーを八尾市子ども政策課の助成金事業で行い、効果検証まで行うことが出来た。今年度は対象者を八尾市民に広げて実施するにあたり、八尾市市民活動支援基金事業助成金に応募したいのでアドバイスがほしい。
5	4月22日	●	助成金 情報	市民活 動団体	聖徳太子没後 1400 年になるにあたり、蘇我氏・物部氏の戦等まつわる講座の開催と、それを冊子にまとめて多くの方に八尾市の歴史を語ってもらえるようにしたい。そのチャンスとして市民活動支援基金に応募したいのでアドバイスがほしい
6	4月28日		紹介・ 提案	市民	コワーキングスペースを設けてイラスト等にかく方の活動拠点の支援をしたい。八尾市のコワーキングスペースの需要や現状が分かれば教えてほしい。
7	4月28日		紹介・ 提案	市民	音訳や読み聞かせの朗読を録音した音声を提供するボランティアを探しているので紹介してほしい。
8	4月29日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	戦争遺跡をまとめたので本にして出版したい。つどい登録団体等で出版をしている団体があれば紹介してほしい。
9	5月6日	●	助成金 情報	市民活 動団体	市民活動支援基金に応募したいので、申請する内容と募集要項と趣旨に沿っているか教えてほしい。
10	5月6日		紹介・ 提案	市民	子どものみまもりや、学習支援等のボランティアを探しているので紹介してほしい。
11	5月6日	●	助成金 情報	市民活 動団体	市民活動支援基金に応募したいので、申請する内容と募集要領と趣旨に沿うか見てほしい。
12	5月7日		紹介・ 提案	市民	ベトナムの方との交流が出来る場所を探しているので、八尾でベトナムの方の支援や交流をされている団体等があれば教えてほしい。
13	5月9日	●	助成金 対応	市民活 動団体	市民活動支援基金に応募したいので申請する内容と募集要領と趣旨に沿うか見てほしい。
14	5月16日		紹介・ 提案	市民	今年度から愛知から大阪に就職し、以前から活動していた「少年少女センター」にこれからも携わりたいと考えているので大阪の「少年少女センター」について教えてほしい。
15	5月28日	●	レク チャー	市民活 動団体	NPO 法人で所轄庁に提出する「事業報告書等の提出について」で「3 貸借対照表」の所に「公告を〇月〇日公示・未公示」と記載されており、記入することになっているがよく理解出来ないので教えてほしい。
16	5月28日		紹介・ 提案	市民	地域の公園・道路の清掃活動を行う団体を立ち上げたい。ただ、清掃で集めたごみの処分費用を参加者で負担するのは難しいので、どのようにすればよいかアドバイスをいただきたい。また、市民活動団体としてつどい登録団体の申請についても教えてほしい。
17	6月2日	●	紹介・ 提案	市民	「これからの八尾の芸術を文化を考えるワークショップ」（主催：八尾市）に参加する方を探しているので、どなたか紹介してほしい。
18	6月3日	●	紹介・ 提案	公共施 設	SALA 交流会で、外国にルーツのある子どもを対象にオンラインで英語や音楽を用いた交流会を行った。次回開催する際に、工作や実験などを提供する団体や個人がいれば紹介してほしい。
19	6月3日		紹介・ 提案	市民活 動団体	活動場所を探しているので、「つどい」を活用する事ができるのか教えてほしい。

No.	日付	タ リ ビ ー	相談 内容	活動 主体	相談内容
20	6月4日		紹介・ 提案	行政	約2年半引きこもりの子どもを対応している。その子がめだかに興味を持ったので、きっかけづくりとしてめだかと触れ合う機会を作りたい。つどい登録団体「華めだか彩鱗庵」の連絡先を教えてください。
21	6月11日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	八尾市内版のクラウドファンディングもしくは寄付システムを構築したい。どのようにすると実現が可能か、どのように進めると良いのか等アドバイスがほしい。
22	6月11日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	大学生の夏休み期間(8~9月末)にインターン先として学生の受け入れ先になっていただける NPO 法人を探している。つどい委託運営団体として検討いただけないか。
23	6月20日		紹介・ 提案	地域活 動団体	ご近所から野良猫のことで相談を受けた。調べていたらつどいホームページを見つけ、団体を紹介してくれることを知ったので、紹介してほしい。
24	6月23日		紹介・ 提案	市民	近所の野良猫のことで悩んでいる。地域で猫の支援を行っている団体を紹介してほしい。
25	6月24日		紹介・ 提案	市民	山登りやハイキング等を行っている団体を紹介してほしい。
26	6月27日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	引きこもりや登校拒否の子どもの支援をされている団体を紹介してほしい。
27	6月30日		紹介・ 提案	行政	フィリピン語を教える団体があれば紹介してほしい。
28	6月30日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	児童へ全校配布するにあたり、発送作業の場所を探している。「つどい」の会議室は使えないか。
29	7月1日		紹介・ 提案	市民	八尾市内で行われている手話サークルがあれば紹介してほしい。
30	7月1日	●	紹介・ 提案	地域活 動団体	敬老祭を開催するので、以前のように団体を紹介してほしい。
31	7月7日		紹介・ 提案	市民	高齢者支援について興味があり、そういった活動をされている団体の方とお話してみたいと思っているため「高齢者支援ネットワーク連絡会」を紹介してほしい。
32	7月7日		紹介・ 提案	事業者	生分解性プラスチックを普及させていくにあたって、骨壺を生分解性プラスチックで製造していくことを考えているが、扱っていただく事業者や消費者がいればご紹介してほしい。
33	7月15日	●	紹介・ 提案	事業者	ビジネスパートナーを探している。異業種交流会や色々な世代の方と出会う機会や場があれば紹介してほしい。
34	7月15日	●	紹介・ 提案	公共施 設	木材を譲っていただいたので活用される方がいれば紹介してほしい。
35	7月22日	●	紹介・ 提案	地域活 動団体	地域リーダー養成講座を開くにあたって講師を探している。アリオで開催された「八尾の歴史」で講師をされていた「特定非営利活動法人 八尾市観光ボランティアガイドの会」に依頼したいので紹介してほしい。
36	7月28日		紹介・ 提案	公共施 設	コミセンの生涯学習講座を企画・実施することになった。団体が実際に活動している現場を体験の場として提供できる団体を紹介してほしい(SDGsに関連した講座も検討したい)。
37	7月29日		紹介・ 提案	市民	「八尾手話サークルみどり」を紹介してほしい。
38	7月29日		紹介・ 提案	市民	「MOA 美術館八尾児童作品展実行委員会」を紹介してほしい。
39	7月29日		紹介・ 提案	市民	山本小学校区まちづくり協議会が行っている青パトのお手伝いがしたいのでご紹介してほしい。
40	8月1日		紹介・ 提案	地域活 動団体	長瀬川の川底に沈んでいるヘドロを除去したい。町会の清掃活動では限界があるので行政等に取り次いでもらえないか。
41	8月7日		紹介・ 提案	市民	つどい登録団体「八尾の戦争遺跡を語る会」にお話をお聞きしたいので紹介してほしい。

No.	日付	タ リ ー	相 談 内 容	活 動 主 体	相 談 内 容
42	8月11日		紹介・提案	行政	10月に開催されるイベントに出展する際にボランティアで協力してくれる方がいれば紹介してほしい(お声掛けしてほしい)。
43	8月13日		紹介・提案	行政	Zoom 学習会を校区まちづくり協議会で開催したいので講師を紹介していただきたい。
44	8月18日		紹介・提案	市民	八尾市内で活動しており、愛着障害を取り扱っている方がいれば紹介してほしい。卒業論文として愛着障害をテーマに研究したいので相談に乗ってほしい。
45	8月21日	●	紹介・提案	地域活動団体	町会集会所にある散水栓から水が漏れており、修繕が必要である。業者を紹介してほしい。
46	8月22日		紹介・提案	市民	テレビで河内音頭の特集を見て久しぶりに踊りたくなったが、現在住んでいる宮崎県にはどこにも置いていないので DVD や音源を提供している団体を紹介してほしい。
47	8月27日	●	紹介・提案	行政	女性が活躍している市民活動団体に相談会と講座の案内(情報提供)を行ってほしい。
48	8月29日		紹介・提案	市民	入院中に不遇な思いをしたことを知ってもらい、良好な職場環境や人間関係の構築に寄与したい。そのために立場の弱い人の声を届けて救済する団体を立ち上げたい。病気で文字が書けないので仲間づくりのための趣旨書を代理でつくってほしい。
49	9月8日		レクチャー	市民	傾聴ボランティアを行ってきたが、独立して団体を立ちあげたい。どのように登録を行えばいいか教えてほしい。
50	9月10日		紹介・提案	教育機関	小学校で子どもが作った短歌を「しきなみ子ども短歌コンクール」に応募したいと考えている。このプロジェクトに携わっているつどい登録団体「家庭倫理の会 中河内」と連絡が取りたいので紹介してほしい。
51	9月10日		紹介・提案	市民活動団体	近鉄八尾駅近辺で 20 人ほどで会合が行える場所を探しているため紹介してほしい。
52	9月12日		紹介・提案	地域活動団体	地域の課題を当事者が気付くきっかけになるような会議づくりができるように、グラフィックレコーディングやファシリテーター経験者を紹介してほしい。また、防犯のイベントチラシを作成してくれる方も紹介してほしい。
53	9月12日		紹介・提案	市民	戦争の被害にあった建築物について研究を行っている。つどい登録団体「河内の戦争遺跡を語る会」に話を伺いたいので紹介してほしい。
54	9月16日		レクチャー	市民	居場所づくりを目的に活動を始めるにあたって、NPO 法人を立ち上げたい。どのように法人格を取得すればよいか教えてほしい。
55	9月18日		紹介・提案	市民	草刈りなどのお手伝いでお役に立てることや、歴史を学ぶことが出来るものがあれば参加したいので教えてほしい。
56	9月18日		紹介・提案	市民活動団体	こども食堂を始める際に、空き家を活用するにはどのような方法や相談先があるか教えてほしい。
57	9月21日	●	紹介・提案	市民活動団体	発行している情報紙に、八尾市の子どもの健全育成団体が主催するイベント情報を掲載しているコーナーがある。そこにつどい登録団体の行事があれば掲載したいので教えてほしい。
58	9月22日		紹介・提案	事業者	紙芝居を行う団体を紹介してほしい。
59	9月24日		紹介・提案	事業者	非認知能力をもっと多くの子育て世代の親御さんに広めて行きたいと思っている。何かご紹介やアドバイスがあれば教えてほしい。
60	9月24日	●	紹介・提案	事業者	「ジュニアエコノミーカレッジ(ジュニエコ)」を 2 年振りに開催する。開催にあたり主催者だけで運営をしていたがサポーターとして当日開催時にお手伝い(脇役)してくれる方を探している。紹介してほしい。
61	9月30日		紹介・提案	市民	大学院の研究としてつどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」にお話を聞きたいので紹介してほしい。
62	10月2日		紹介・提案	市民	ゼミ研究で、調査先としてつどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」を紹介してほしい。

No.	日付	タ リ ー	相 談 内 容	活 動 主 体	相 談 内 容
63	10月2日		紹介・提案	事業者	「つどい」がどんな所なのか尋ねにきた。どんなことをされているか教えてほしい。
64	10月6日		紹介・提案	地域活動団体	高美小学校区まちづくり協議会で Zoom 講習会を開催したいので講師を紹介してほしい。
65	10月6日	●	紹介・提案	行政	安中人権コミュニティセンターで Zoom 講座を開催したいので講師を紹介してほしい。
66	10月7日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「自然療法の会」を紹介してほしい。
67	10月7日	●	レクチャー	市民活動団体	ふるさと納税の寄附を受ける方法があるのか教えてほしい。
68	10月7日	●	紹介・提案	事業者	衣服(1000着程度)を活用してくれる団体があれば紹介してほしい。
69	10月7日	●	紹介・提案	市民活動団体	「つどい」の会議室を利用している時に、いつも参加されている方と連絡が取れなくなった。ご高齢の方なので何かあったのか心配なので、もし知っていたら教えてほしい。
70	10月7日	●	紹介・提案	市民活動団体	行事のチラシを作成するにあたって八尾の風景写真を掲載したい。八尾の風景写真をお持ちの方がいれば紹介してほしい。
71	10月8日		紹介・提案	事業者	つどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」と連絡が取りたいので紹介してほしい。
72	10月8日		紹介・提案	市民	つどい登録団体でウクレレ教室を行っている団体があれば紹介してほしい。
73	10月8日	●	紹介・提案	事業者	11月に開催するスタッフ会議の場所を探している。「つどい」を借りれないだろうか。また、どこか場所を紹介してほしい。
74	10月8日	●	紹介・提案	行政	ワークショップの開催にあたり、参加者が少ないため話題提供者からお誘い先として何団体か市民活動団体の名称があがった。団体を紹介してほしい(開催案内チラシは別紙参照)。
75	10月11日	●	紹介・提案	市民	「つどい井戸端会議(当時の子育て支援井戸端会議)」で里親活動をされていた方とお会いしたが、つながりがないのでご紹介して欲しい。また八尾市の市政だよりに掲載している里親制度説明会・相談会に参加しようと思っているのでご存知なら紹介してほしい。
76	10月17日		紹介・提案	市民	野良猫を引き取ってほしい。
77	10月17日		紹介・提案	市民	陸上競技をコーチングするクラブチームを設立・運営したい。
78	10月28日		紹介・提案	市民	つどい登録団体「起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～」の連絡先を教えてください。
79	10月29日		紹介・提案	公共施設	聞き書きの講座を開催するにあたって講師依頼をしたいので、つどい登録団体「やお聞き書きの会」を紹介してほしい。
80	11月5日	●	レクチャー	市民活動団体	地域の活動に携わる上で、校区まちづくり協議会と地区福祉委員会の違いが分からないので教えてほしい。
81	11月10日		紹介・提案	市民	これから活動を始めるにあたって、広報先を探していた際につどいを紹介された。つどいについてと他の広報先を教えてください。
82	11月17日		紹介・提案	市民	フードバンクをされている場所を紹介してほしい(就労支援ではなく、生活支援を受けられる所が知りたい)。
83	11月17日	●	紹介・提案	市民活動団体	講座の講師を探しているので、つどい登録団体「八尾マジッククラブ」を紹介してほしい。
84	11月18日		紹介・提案	教育機関	本校で「命の授業」を行うにあたり、「命の授業」をされているつどい登録団体「八尾の助産師の会」を紹介してほしい。
85	11月25日		紹介・提案	市民	金城 昌幸氏(PM パートナーズ代表)に講師を依頼したいので連絡先を教えてください。
86	11月28日		紹介・提案	市民	つどい登録団体の中で、琴をされている団体と折り紙の活動をされている団体に入りたいので紹介してほしい。

No.	日付	タ リ ー	相談 内容	活動 主体	相談内容
87	12月2日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	大竹会館を団体の活動でお借りしたいので、管理されている寺西氏とつなげてほしい。
88	12月2日		紹介・ 提案	市民活 動団体	法務局の登記手続きや定款変更手続きを行ってくれる司法書士や行政書士を紹介してほしい。
89	12月2日	●	紹介・ 提案	行政	つどい登録団体の内、「環境の保全」に該当する団体の一覧表が欲しい。
90	12月8日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	地域猫の居場所事業として、地域猫の譲渡を常設出来る場所を賃貸することになった。業者に内装や設備のリフォーム代の見積を出してもらったが比較検討するために相見積を取りたい。他に紹介してもらえないか。
91	12月9日		紹介・ 提案	市民	市民活動や地域活動を行いたいので、どこか紹介してほしい。
92	12月15日	●	紹介・ 提案	事業者	発達相談事務所、心療内科にご挨拶に伺いつながりたいので、つどい登録団体や当事者の家族、関わりのある方等がいれば紹介してほしい。
93	12月15日		紹介・ 提案	教育機 関	授業の依頼をしたいので、つどい登録団体「八尾の助産師の会」を紹介してほしい。
94	12月15日		紹介・ 提案	市民活 動団体	冬休み中のスタッフが少ないため、学生で興味のある子がいれば手伝ってほしい。
95	12月26日		紹介・ 提案	市民活 動団体	清掃活動で出たごみを持ち帰らずに収集してくれる方法があれば教えてほしい。
96	1月6日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	3月末でNPO法人を解散することになった。解散手続きを行ってくれる専門家(行政書士・司法書士)を紹介してほしい。
97	1月12日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	里子・里親施設関係に寄附・寄贈を行う前に、求めている支援を知りたいのでそのような施設を紹介してほしい。
98	1月27日		紹介・ 提案	市民	親が経営する喫茶店がいずれ引退し閉店した際にレンタルスペースとして提供し、社会貢献やコミュニティの場として活用したいと考えている。既に行われている取り組み等あれば教えてほしい。
99	2月2日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	団体のメンバーで、自身が現在住んでいる自宅を必要でなくなった際に団体の活動に活用してほしいという提案があった。受け取る際に必要な手続きがわからないので相談に乗ってくれるような方を紹介してほしい。
100	2月3日		レク チャー	地域活 動団体	自治会の会則を改定するにあたり、臨時総会を開催する。会則の改定(案)について、一部の方から意見書もらったため、その意見を一部取り入れて会則の改定案を作り直して再度提案する。その際もう一度臨時総会を開催し、出席および委任状をいただいた方が良いのかわからない。合意形成の進め方を教えてほしい。
101	2月10日		紹介・ 提案	市民	ボランティアに興味があり、どんなものがあるのか知りたいので紹介してほしい。
102	2月11日		紹介・ 提案	事業者	ローリングストックで回収した賞味期限が近い食品を、八尾の子ども食堂や子どもたちの食育に支援されている団体に寄付したいので紹介してほしい。
103	2月18日		紹介・ 提案	事業者	つどい登録団体「流し節生調河内音頭保存会」と連絡を取りたいので紹介してほしい。
104	2月18日		紹介・ 提案	市民	困っている人たちの居場所になるような活動を始めたいと思っている。活動を始めるにあたって様々な方とつながりを作りたいので紹介してほしい。
105	2月18日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	八尾市の子ども関係の部署との協働や助成金の制度があれば教えてほしい。
106	2月19日	●	レク チャー	市民活 動団体	団体でGoogleアカウントを作成しようとしていたが、途中から操作がわからなくなったので教えてほしい。
107	3月6日		紹介・ 提案	市民	八尾市内で独身者の紹介をボランティア活動で行う方がいれば紹介してほしい。

No.	日付	タ リ ビ ー	相談 内容	活動 主体	相談内容
108	3月7日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	NPO 法人を解散する事で調整しており、解散手続きやそれに関連する雇用・社会保険・税金の手続き等の手間が大変なので、行政書士や司法書士など専門家に手続きをお願いしたいので紹介してほしい。
109	3月9日		紹介・ 提案	市民	農業体験や自然と触れ合いの場を提供しながら子ども達の居場所づくりを行っている団体があれば紹介してほしい。
110	3月10日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	経営者団体から協賛金をお願いする場合、どのようなポイントでご説明とお願いを行えばよいかアドバイスが欲しい。
111	3月10日		紹介・ 提案	市民	子育て中の親子を対象に、性教育、発達障害、不妊治療に関する事業や活動を立ち上げたいと考えている。そのための NPO 法人の設立について知りたいので教えてほしい。
112	3月16日		紹介・ 提案	市民	量り売りのスーパーとカフェを運営し、居場所づくりにもつながる拠点をつくりはじめている。近隣の施設や、量り売りに共感する環境活動等されている方がいれば紹介してほしい。
113	3月22日		紹介・ 提案	市民活 動団体	10代の進路・就職相談をしているが、就職や居場所づくりのサポートをされている団体があれば紹介してほしい。また、飲食系や事務系のアルバイト先もあれば教えてほしい。
114	3月26日		紹介・ 提案	市民	八尾市内で雰囲気の良いバリアフリーに配慮したお店があれば紹介してほしい。

○ 相談内容・相談者の活動主体・相談分類

月別小計	相談内容				活動主体									相談分類		
	紹介・ 提案	レク チャー	助成 金対 応	その他	市民	市民 活動 団体	地域 活動 団体	行政	公共 施設	事業 者	教育 機関	その他	設立 相談	運営 相談	NPO 法人 以外 の相 談	
4月	5	0	3	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
5月	4	1	3	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	1	7	
6月	12	0	0	0	3	5	1	2	1	0	0	0	0	0	12	
7月	11	0	0	0	5	0	2	0	2	2	0	0	0	0	11	
8月	9	0	0	0	4	0	2	3	0	0	0	0	0	0	9	
9月	11	2	0	0	5	3	1	0	0	3	1	0	1	0	12	
10月	17	1	0	0	6	3	1	2	1	5	0	0	0	0	18	
11月	6	1	0	0	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0	7	
12月	9	0	0	0	1	5	0	1	0	1	1	0	0	1	8	
1月	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
2月	6	2	0	0	2	3	1	0	0	2	0	0	0	0	8	
3月	8	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
小計①	101	7	6	0	42	35	8	8	4	14	3	0	1	2	111	
合計②	114				114									114		
① / ② (%)	95.3	6.6	5.7	0.0	36.8	30.7	7.0	7.0	3.5	12.3	2.6	0.0	0.9	1.8	97.4	

※ 相談件数は、114件です。

※ 四捨五入のため、合計のパーセントが100%にならない場合があります。

【ウ】 社会貢献活動に係るスキルアップの支援

○ 講師派遣・各種開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	9月22日(水)	志紀小学校区まちづくり協議会 Zoom 講習会 ・ メリットデメリットや準備物について説明。 ・ 実際に Zoom を使用して操作方法を体験。 ・ 基礎的な部分を説明、体験していただいた後、スマホを使った利用方法を口頭で説明。	志紀コミュニティセンター	8名
2	10月21日(木)	山本コミセンまち協対象スマホ・オンライン講座 ・ スマホを用いた Zoom の体験。 ・ 実際に LINE を使用し、グループ作成やリアクションの返し方等の基礎から団体運営に通うことができる機能の紹介と実践。	山本コミュニティセンター	11名
3	1月23日(日)	高安西小学校区まちづくり協議会まちづくりワークショップ ・ 会議のハードルを下げる、意見の言いやすい関係性づくりを目的に開催。 ・ 趣味等の共通点で集まったチームで地域の魅力をテーマに意見交流や深める体験をしていただいた。	高安西校区集会所	21名
4	2月17日(木)	山本コミセンまち協対象 Google フォームと QR コード作成講座 ・ Google フォームを用いたアンケートや参加確認の収集方法とその発信手段として QR コードの作成方法の体験。 ・ その後、各まち協での活用法を検討していただき、意見交流を行った。	山本コミュニティセンター	7名
合計				47名

○ スタッフへ会計と助成金の考えをレクチャー(5月)

- ・ 市民活動支援基金事業助成金の趣旨に沿った考えをレクチャー
- ・ テスト形式で出題し回答。

○ 委託元主催の校区まちづくり協議会対象の Zoom 等のオンライン講座(7月)

- ・ 5月21日に打ち合わせを実施し、7月14日に開催が実現。
- ・ 講師として、登録団体「学生団体はちのじ」から2名、「オリオン少年団」から1名が出席。

○ 講師派遣等の依頼状況の管理・把握(講師依頼等の受付表作成)(11月)

- ・ 講師依頼についての相談や依頼が増加している事や来年度の講師派遣の依頼に加え、つどいスタッフを派遣するのか、または「つどい登録団体」を紹介するかも含め、個別での講師依頼等の受付表を作成し、管理・把握する体制を整えた。

○ 安中人権コミュニティセンター主催の Zoom 講座(来年度)開催へ向けた打合せ(12月、1月)

- ・ 12/9 及び 12/16 打合せを実施。
- ・ 1/27 に現地(安中人権コミュニティセンター)にてリハーサルを兼ねた打合せを実施。

○ 八尾小学校区まちづくり協議会会長来館(3月)

- ・ 3/18 につどいに来館していただき、これまでにつどいと各まち協が連携してきた講座やワークショップ等の事例を共有。
- ・ 共有後は上表No.4 の内容に興味を持たれていたため、同内容(Google フォームと QR コードの作成)を簡単にレクチャーし、今後の活動に活かしていただきたいこと、ご要望があればつどいから講師役として参加する事が可能であることをお伝えした。

【エ 社会貢献活動への参加支援業務】

○ 体験会開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	4月3日(土)	菜の花のお花見と豆電球カバーづくり	中環の森	16名
2	6月5日(土)	菜の花の茎と種を分ける・今後の体験会のプログラム提案(間伐等の体験と資源利用~薪にして防災につなげる~※)		22名
3	9月11日(土)	中環の森 除伐体験※		25名
4	12月4日(土)	菜の花の植替え体験・除伐体験		17名
年間開催回数：4回				80名

- ※ No.2:間伐等の体験と資源利用にあたり、所有者の大阪府都市みどり課に了解を得た(7/1)。大阪府都市みどり課とやりとりを行っている特定非営利活動法人自然環境会議八尾にも了解を得ている。
- ※ No.3: 人的協力として、「美園小学校区まちづくり協議会」から10名が除伐を実施。物品協力として、所有者の大阪府都市みどり課よりノコギリ5本・剪定鋏5本を借用。アクトランド YAO よりノコギリ5本を借用した。校区まちづくり協議会や多様な活動主体が協働する場に成長している。また、校区まちづくり協議会の参加者から、このような活動場所があったことを再認識された。今後は地域資源の場としても認識をしてもらうように「つどい」から促していく。
- ※ No.4: 人的協力として、「美園小学校区まちづくり協議会」から3名が除伐のサポートで参加。当日、久宝寺コミセンにてグランドゴルフが開催されていたが、人的協力をいただいた。命の輝き共生の森 計画推進協議会も1名ご参加いただいた。
- ※ 中環の森での体験会は、「つどい」「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」「エコロジー美園小」の3団体の共催により実施し、「美園小学校区まちづくり協議会」は協力団体として携わっている。

解説・経過：中環の森で共催している「つどい体験会」について

- ・ 2012(平成24)年12月からつどい主催の「広がり交流会」を年3~4回開催し、約9年が経過。
- ・ 中環の森は大阪府管轄であり、八尾市域においては「特定非営利活動法人河内木綿藍染保存会」が春から秋に河内木綿を栽培し、「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」が冬から春に菜の花を栽培し、大阪府と協働をされていた(両市民活動団体は、つどい登録団体である)。
- ・ 佐堂東交差点付近に活動場所(現地)があり、美園小学校の児童の通学路として、季節に応じて河内木綿や菜の花をよく目にしていた。小学校の授業以外で、現地には入れなかった。
- ・ つどい業務責任者が、以前から美園小学校 PTA 部会(エコロジー美園小)とのつながりがあり、身近で新しい活動先としてご紹介し、地域活動団体と市民活動団体が共に菜の花や河内木綿の栽培を体験する場として開催を行って来た。
- ・ 2019年度頃に、河内木綿の栽培の担い手不足により、美園小学校区まちづくり協議会が栽培を担う事になり、「つどい」は、美園小学校区まちづくり協議会とのつながりがさらに深まる。
- ・ 現在は、「つどい」「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」「エコロジー美園小」の共催により実施し、現在は「美園小学校区まちづくり協議会」は協力団体として携わっている。

○ 交流会開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	4月15日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	11名
2	4月24日	第45回 つどい井戸端会議	センター「つどい」とオンライン開催(Zoom)	6名
3	5月21日	第46回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	7名
4	6月17日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	10名
5	6月18日	第47回 つどい井戸端会議	光専寺とオンライン開催(Zoom)	7名
6	7月16日	第48回 つどい井戸端会議	光専寺とオンライン開催(Zoom)	4名
7	8月19日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	10名
8	8月27日	第49回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	7名
9	9月24日	第50回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	6名
10	10月29日	第51回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	5名
11	11月19日	第52回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	6名
12	12月17日	第53回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	9名
13	1月21日	第54回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	6名
14	2月18日	第55回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	9名
15	3月18日	第56回 つどい井戸端会議	オンライン開催(Zoom)	7名
年間開催回数：15回				110名

※ 10月21日、2月17日に開催した「山本コミセンラウンドテーブル」は、スキルアップ支援として開催。

解説・経過：山本コミセンラウンドテーブルについて

- ・ 2016（平成28）年度に業務委託契約（5ヵ年度）の仕様書の中に、新たに下記が盛り込まれた。
「利用者・参加者等による意見を聴き、分析結果を市に報告するとともに、新たな事業の企画・運営に反映すること。そのため、毎年度、登録団体等に対してアンケートを行い、登録団体の意見や活動状況を徴収し、協働事業数や協働先等の把握に努めること。」
- ・ 2016（平成28）年度から「つどい登録団体」にアンケート調査（計3回）を実施し、2017（平成29）年度と2019（令和元）年度は出張所訪問を行い、団体・地域の現状等の情報収集に努め、「出張！専門家相談会」「チラシ作りワークショップ」という新たな企画・実施が実現した。
- ・ 「山本コミセンラウンドテーブル」も、事業の企画・運営のひとつとして、2018（平成30）年2月から企画し偶数月に開催している。山本出張所管内6小学校区の校区まちづくり協議会を対象（所長及びコミスタ含む）に情報収集や情報提供を行い、地域分権を推進する話合いの場として「山本小学校区まちづくり協議会」と共催及び「山本出張所」の協力により実施している。

○ その他 参加支援業務記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	7月10日(土)	令和3年度 なつやすみこども講座 オリエンテーション「ボランティアについて」	八尾市生涯学習センター「かがやき」学習プラザ 大研修室	13名(内 Zoom参加 3名)
年間開催回数：1回				13名

解説・経過：【なつやすみこども講座 オリエンテーション「ボランティアについて」】の講師派遣

- ・ 2015（平成 27）年に生涯学習センター「かがやき」より、「つどい」に講師依頼があり、「なつやすみこども講座」でボランティアに携わる方や、「かがやき」利用団体を対象に、ボランティアや市民活動についての導入部分について、つどい業務責任者が講師として、お話を行って来た。
- ・ 自分を磨く生涯学習で得たノウハウを、今度は人に喜んでもらい、みなさんのお役に立つための市民活動につなげるように情報提供を行って来た。
- ・ 2015（平成 27）年度～2017（平成 29）年度及び 2019（令和元）年度～2020（令和 2）年度まで毎年 1 回計 5 回、講師派遣を行っている。
- ・ これまでは講義形式やワークショップ形式での講座を行った年度もあったが、今年度は講座の一部として 40 分程度に絞りお話を行った。

③多様な主体による連携・協力促進業務

【ア】 連携・協力のコーディネート

○ 相談対応後の経過(マッチングの有無)計測【別表のエクセルシートを参照】

・ 【マッチング数：34件】 / 【相談件数：114件】

(1) 市民

No.	相談No.	日付	タ リ ピ ー	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2021-014	5月16日		愛知から大阪に就職し、以前から活動していた「少女少女センター」にこれからも携わりたいと考えているので大阪の「少女少女センター」について教えてほしい。	対応者がつどい登録団体「少女少女組織を育てる八尾センター」に所属していたことから、一度お会いしこれからこの支部に所属し、どの様に活動していくか話を進めていくことになった。 相談者と対応者と紹介団体の1名とが「つどい」で顔合わせを行い、つながりができ6/5の団体の活動に参加することになった。
2	2021-017	6月2日	●	「これからの八尾の芸術を文化を考えるワークショップ」(主催：八尾市)に参加する方を探しているのので、どなたか紹介してほしい。	イラスト作成を行っているつどいスタッフを紹介した。また、後日に「ヒロ・クロンドールバレエ」の2名にも開催案内チラシを送付した。 後日、つどいスタッフが本ワークショップに参加することになった。
3	2021-024	6月23日		近所の野良猫のことで悩んでいる。地域で猫の支援を行っている団体を紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾ねこの会 さくら」の代表を紹介した。 同日、紹介者からつどいに相談者から連絡があり、団体として対応する事になったと報告があった。
4	2021-031	7月7日		高齢者支援について興味があり、そういった活動をされている団体の方とお話してみたいと思っているため、「高齢者支援ネットワーク連絡会」を紹介してほしい。	つどい登録団体「高齢者支援ネットワーク連絡会」の代表者連絡先をお伝えした。 紹介者から相談者の方から団体に問合せがあったとご報告があった。
5	2021-038	7月29日		「MOA 美術館八尾児童作品展実行委員会」を紹介してほしい。	登録情報をお渡しし、連絡先を提供した。 教室から出展・応募することになったとご報告があった。
6	2021-039	7月29日		山本小学校区まちづくり協議会が行っている青パトのお手伝いがしたいのでご紹介してほしい。	山本小学校区まちづくり協議会の会長をご紹介した。 8/3に紹介者の紹介で、青パトに乗るための事前講習を受けることが出来、許可証を頂けたと報告があった。
7	2021-041	8月7日		つどい登録団体「八尾の戦争遺跡を語る会」にお話をお聞きしたいので紹介してほしい。	情報開示可能であった代表者の連絡先をお伝えした。 相談者から紹介者に連絡され、別の種類の本も購入出来た。とご報告いただいた。

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	マッチング内容・団体・行事等
8	2021 -044	8月18日		八尾市内で活動しており、愛着障害を取り扱っている方がいれば紹介してほしい。卒業論文として愛着障害をテーマに研究したいため、相談に乗ってほしい。	八尾市内で活動される方及び登録団体では愛着障害者を対象に取り組む団体が見つからなかったと回答。対応者が大阪市内で面会交流に取り組んでいる「NPO 法人 ハッピーシェアリング」を紹介した。予め代表には、面会交流活動でつながった愛着障害に取り組んでいる方や団体の照会を問い合わせたが、存知ないとのことだった。愛着障害の既往研究について詳しいか以上の経過や団体及び研究者について、相談者へ紹介を行った。また、「NPO 法人ハッピーシェアリング」が行っている面会交流ボランティアへの参加を提案した。代表へ相談者のことを伝え、相談に乗っていただけるようつなげた。つどい登録団体「(一社) 倫理研究所 八尾市倫理法人会」で、対応者が紹介者と一緒に携わっていたことからご紹介を行った。八尾市倫理法人会の趣旨や取り組みもあわせて情報提供を行った。 9/1に相談者は紹介団体に訪問し、毎月1回程度の頻度で面会交流ボランティアに参加することになった(今年度は仕事の合間に月1回程参加予定とのこと)。面会交流は、愛着障害の予防にもつながると考えておられるので今後の卒業論文の研究にもつながる。また10月には面会交流の研究会にも参加。研究者の方とも繋がること出来たとのこと。
9	2021 -061	9月30日		大学院の研究としてつどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」にお話をお聞きしたいので紹介してほしい。	つどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」の登録情報をお送りした。また、メール等で連絡がつかない場合は、対応者からも連絡することも添えた。 相談者から紹介者に連絡されて直接お話を伺うことが出来たと双方からご報告があった。
10	2021 -072	10月8日		つどい登録団体でウクレレ教室を行っている団体がいれば紹介してほしい。	つどい登録団体「ウクレレハウス」の登録情報から開示可能な情報をお送りした。 紹介者から相談者と11/4にこれからの参加方法について相談することになったと報告があった。
11	2021 -078	10月28日		つどい登録団体「起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～」の連絡先を教えてください。	代表者連絡先をお伝えした。 相談者は箕面市の方で急ぎで紹介者に連絡され、アドバイスを受けて後日ご家族の方の病院に受信の申込をされた。

(2) 市民活動団体

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2021-022	6月11日	●	大学生の夏休み期間にインターン先として学生の受け入れ先になっていただけるNPO法人を探している。つどい委託運営団体として検討いただけないか。	昨年度にも同じNPO法人の別の方から同様の相談があったことをお伝えした(相談No.2020-015)。今回はつどい委託運営団体として受入を検討するためにも、改めて詳しいお話をお聞きすることになり、事前情報として法人の業務報告書をデータで送信いただき、つどいに来館していただくかオンラインでお話するために別日を設けることになった。 オンライン(Zoom)で事前説明をお聞きし、インターン先として受け入れを行う事になった。
2	2021-026	6月27日	●	引きこもりや登校拒否の子どもへの支援をされている団体を紹介してほしい。	つどい登録団体で該当する団体は2団体のみだったので、より大きい概念から絞っていただくために、子どもの健全育成の分野で活動されている団体のリスト(相談 No.2020-131)を提供した。 送付状及びチラシの送付を郵便・メールで実施され、多数の団体がチラシの配架及びポスター掲示に協力いただけることになった。協力の輪が広がった。
3	2021-028	6月30日	●	児童へ全校配布するにあたり、発送作業の場所を探している。「つどい」の会議室は使えないか。	つどいの会議室はコロナ禍のため、会議目的以外の貸出が以前よりもさらに厳しくなった。そのため、光専寺での作業場所として提案した。相談者もチラシの印刷物の受け取り場所を発送作業に配送したいと考えていたので、「つどい」1階のフリースペースで作業を行うことを提案した。 提案させていただいた通りつどい1階フリースペースで作業を行い無事発送作業が完了した。
4	2021-057	9月21日	●	発行している情報紙に、八尾市の子ども健全育成団体が主催するイベント情報を掲載しているコーナーがある。そこにつどい登録団体の行事があれば掲載したいので教えてほしい。	対応者が「郵便物・来館者手持ち受付簿」で調べて、下記の5つの行事チラシを提供した。 ・「かがやき広場 with すまいる」: 登録No.328 「健康子育て支援団体 すまいる」 ・「八尾どくしょまつり」: 登録No.47「八尾の学校図書館を考える会」・「登校拒否を克服する会講演と無料相談会」: 登録No.115「登校拒否を克服する会 八尾交流会」・「えだまめっこ with さくらんぼキッズ メンバー募集」: 登録No.434 「えだまめっこ with さくらんぼキッズ」・「マザーコーチングスクール」 紹介した「八尾どくしょまつり」「かがやき広場 with すまいる」が掲載されたことをご報告いただいた。
5	2021-083	11月17日	●	講座の講師を探しているため、つどい登録団体「八尾マジッククラブ」を紹介してほしい。	過去につどいの八尾市制施行60周年記念事業等で面識のあった団体の方をご指名されたので「つどい」から直接電話で取次ぎ、相談者と紹介者で直接電話上で説明等をされた。結果11/24 アリオ八尾の光町スクエアで打合せを行うことになった。 紹介者と打合せが終わり、来年2月に講座を開催し、講師でお招きすることが決まった。

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	マッチング内容・団体・行事等
6	2021 -088	12月2日		法務局の登記手続きや定款変更手続きを行ってくれる司法書士や行政書士を紹介してほしい。	司法書士や行政書士といった士業の方々が構成員になっているつどい登録団体「特定非営利活動法人 て・と・て」をご紹介します。 あと1週間程度で手続きが完了することがわかり、紹介した団体に依頼されたことも分かった。
7	2021 -090	12月8日	●	地域猫の居場所事業として、地域猫の譲渡を常設出来る場所を賃貸することになった。業者に内装や設備のリフォーム代を見積を出してもらったが比較検討するために相見積を取りたい。他に紹介してもらえないか。	「リーラボ・ReLab-」代表であり、(株)ソラシアソラシア工務店責任者の方をご紹介します。ファミリーロード商店街内に事務所があるため相談者をお連れし紹介者に直接説明を行った。お借りする賃貸物件が北本町にあるので、三者で現地まで移動し物件を見てもらいながら相談者から詳しい要望を伝えた。近日、紹介者から見積を出してもらう予定。 相談者から紹介者の所を出していただいた見積りで依頼する事に決めたとご報告いただいた。
8	2021 -094	12月15日		冬休み中のスタッフが少いため、学生で興味のある子がいれば手伝ってほしい。	施設訪問中につどい登録団体「学生団体はちのじ」を紹介し、紹介団体に所属しているつどいスタッフからその場で団体説明を行った。 団体内で募集を行い、1名の大学生が計2回活動に参加されていることが分かった。
9	2021 -095	12月26日		清掃活動で出たごみを持ち帰らずに収集してくれる方法があれば教えてほしい。	八尾市では「八尾のまちをきれいにする運動推進本部」があり、2週間前までに申請書にて申込を行い、清掃で出たごみの収集場所を添えて提出することをお伝えした。また、清掃用の袋をもらいに行くことをお伝えした。ただ、10袋以上の排出がないと収集が出来ないことが分かったため、近隣でアドプトロード協定で取り組まれている「(株)八光殿」と一緒に清掃活動が出来ないか提案した。相談者は(株)八光殿の関連団体である「八尾ライオンズクラブ」に所属されており、つながりもあるため尋ねてみることになった。 「八尾のまちをきれいにする運動推進本部」(事務局:八尾市環境保全課)へ連絡されてご配慮いただき、1袋からでも収集してくれることになった。毎回清掃時にはつどいの前に地域一斉清掃として回収したごみを置くことになった。

(3) 地域活動団体

No.	相談 No.	日付	タリ ピ	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2021-030	7月1日	●	敬老祭を開催するので、以前の様に団体を紹介してほしい。	以前も出演いただいたつどい登録団体「ウクレレハウス」「フラ・ヴィーナス」を紹介した。 開催・出演することでマッチングし、連絡のやりとりがスタートした。
2	2021-052	9月12日		地域の課題を当事者が気付くきっかけになるような会議づくりができるように、グラフィックレコーディングやファシリテーター経験者を紹介してほしい。また、防犯のイベントチラシを作成してくれる方も紹介してほしい。	対応者にグラフィックレコーディングやファシリテーター経験者がいたため、経験者2名が所属しているつどい登録団体「地域コミュニティカフェ yotteco」のメンバーとして紹介した。また、チラシの件も同様に対応することとなった。 9/25に南山本で開催されるワークショップに紹介団体として1名が参加することになった（もう1名はつどいとして参加）。

(4) 行政

No.	相談 No.	日付	タリ ピ	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2021-042	8月11日		10月に開催されるイベントに出展する際にボランティアで協力してくれる方がいれば紹介してほしい。	つどいスタッフの若年層スタッフに尋ねてみると回答（関係者がつどい登録団体に所属しているので団体内にも尋ねてもらえるように協力依頼を行った）。また、廃止しているが「NPO 法人 チアエイド」の北方氏は以前「やお市民活動 春の祭典」や「アートやっちゃお！」でPRステージ等でコスチュームをしてもらいながら協力していただいたことがあるので、お声掛けは出来ると回答した。 10/9,10のボランティアは各日4名の計8名のつどい登録団体「学生団体 はちのじ」が協力することになった。
2	2021-043	8月13日		Zoom 学習会を校区まちづくり協議会で開催したいので講師を紹介していただきたい。	つどいとしては、まち協の方々と直接相談等が出来る信頼関係を構築出来る事や協働促進することが目的であることを相談者にお伝えした。八尾市が主催したZoom講習会の様に「つどい登録団体」を講師派遣するか、つどいから業務として派遣するか、どちらでも可能だと回答した。 以前八尾市主催のZoom研修会の講師を派遣することで、出張Zoom研修会の開催が決定した。
3	2021-074	10月8日	●	ワークショップの開催にあたり、参加者が少ないため話題提供者からお誘い先として何団体か市民活動団体の名称があった。団体を紹介してほしい。	相談者からお名前があがった4名と他2名の計6名を担当者から直接お誘いした。 2名は当日ご参加いただき、加えてもう1名も15時頃から参加いただいた。

(5) 公共施設

No.	相談 No.	日付	タリ ピ	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2021-079	10月29日		聞き書きの講座を開催するにあたって講師依頼をしたいので、つどい登録団体「やお聞き書きの会」を紹介してほしい。	相談者から問合せがあった際に、紹介者が会議室利用で「つどい」に来館されていたので、直接相談者と電話でやりとりをしていただいた。 11/6に紹介者が「つどい」で会議室を利用する際に、相談者が訪問し打合せを行うことになった。 聞き書きの創設者である先生のご意向を確認しながら、連続講座で紹介者の代表も講師をつとめてもらうことになった。

(6) 事業者

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2021-033	7月15日	●	ビジネスパートナーを探している。異業種交流会や色々な世代の方と出会う機会や場があれば紹介してほしい。	4つの団体・施設を紹介した。つどい登録団体「八尾市倫理法人会」「BNI」「中小企業同好会」「みせるばやお」 相談者は紹介したつどい登録団体に7/27付でご入会された。紹介した団体が7/29に相談者と入会後の携わり方等をご説明され、今後も続けてご参加されることになった。
2	2021-058	9月22日		紙芝居を行う団体を紹介してほしい。	つどい登録団体「紙芝居をつくる会」「絵本のじかん」「健康子育て支援団体すまいる」の3団体を紹介した。 紹介したつどい登録団体「紙芝居をつくる会」から「八尾で絵の本ひろば広げよ会」の担当者を紹介していただき、両者で出展することになった。
3	2021-060	9月24日	●	「ジュニアエコノミーカレッジ(ジュニエコ)」を2年振りに開催する。開催にあたり、主催者だけで運営をしていたが、サポーターとして当日開催時に準備をお手伝い(脇役)してくれる方を探しているので紹介してほしい。	相談No.2021-047の対応を同様に、子どもの健全育成に該当する団体や女性が活躍している団体等につどいから情報提供することをご提案した。また、昨年度まで曙川小学校でエネルギーに関する授業で全国大会最優秀賞まで導いた先生に情報提供することもお伝えした。 説明会の開催及びボランティアサポーターの募集を「つどいブログ」と「Facebook」で広報を行った結果、計5名が参加された。対応者とインターンシップ生(1名)も説明会に参加した。
4	2021-068	10月7日	●	衣服(1000着程度)を活用してくれる団体がいれば紹介してほしい。	対応者が訪問して改めて拝見し、利活用(ユニフォームやパッチワーク材料等)を考えるとお伝えした。また、衣服の一部を「つどい」で提供いただき、団体へ打診することもご提案した。 「つどいの広場 いとぐるま」の運営団体に情報提供し、11/9に相談者側の担当者とお会いし、衣服を提供することになった。

(7) 教育機関

No.	相談 No.	日付	タリ ピ	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2021-020	6月4日		約2年半引きこもりの子どもを対応している。その子どもがめだかに興味を持ったので、きっかけづくりとしてめだかと触れ合う機会を作りたい。つどい登録団体「華めだか彩鱗庵」の連絡先を教えてください。	紹介団体の代表の連絡先をお伝えした。 相談者から、代表に連絡され団体から6匹のめだかを提供いただき、子どもも喜んでお世話してくれていると報告いただいた。
2	2021-050	9月10日		小学校で子どもが作った短歌を「しきなみ子ども短歌コンクール」に応募したいと考えている。このプロジェクトに携わっているつどい登録団体「家庭倫理の会中河内」と連絡が取りたいので紹介してほしい。	情報開示可能な団体の情報をお伝えした。 紹介者から、相談者に応募用紙を受け取りに行き、応募が完了したとご報告があった。
3	2021-084	11月18日		本校で「命の授業」を行うにあたり、「命の授業」をされているつどい登録団体「八尾の助産師の会」を紹介してほしい。	情報開示されている情報をお伝えした。 相談者の小学校で授業を行うことになった(相談No.2021-093の経過・マッチング欄に引き受けたと記録あり)。
4	2021-093	12月15日		授業の依頼をしたいので、つどい登録団体「八尾の助産師の会」を紹介してほしい。	情報開示されている情報をお渡しした。 紹介者から、相談者から連絡があった事と、時期は未定だが「命の授業」を行うことでお引き受けしたとご報告いただいた。授業内容に関しては、松村氏が別の依頼(相談No.2021-084)でお引き受けされたことを打合せの際に情報提供し、同じ内容で授業をすることになったとのこと。

○ 相談対応後の経過(マッチングの有無)計測【昨年度の相談】

(1) 市民

No.	相談 No.	日付	タリ ピ	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2020-125	2021年 2月20日		つどい登録団体「八尾の戦争遺跡を語る会」の大西氏を紹介してほしい。	大西氏の連絡先をお伝えした。 紹介者と連絡がつながり、紹介者の本を出版する件も協力していくことになったとご報告があった。

(3) 地域活動団体

No.	相談 No.	日付	タリ ピ	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2020-114	2021年 1月10日	●	SDGsを学習する機会を企画したい。東京都・神奈川県でSDGsに取り組む団体があるが、近郊でも取り組んでいる個人や団体があれば紹介してほしい。	昨年度、八尾市環境保全課がSDGsのワークショップを開催されていたので紹介した。担当の新葉氏は(一社)SDGs支援機構の研修を関東まで出張し受講されている。 相談者から7/13(火)に紹介者との協働で講座が実現したとご報告があった。
2	2020-123	2021年 2月12日	●	毎年「さくらまつり」の開催時に、「河内木綿藍染保存会」の村西工房も協力して開館してもらっているが、今年はコロナ禍のため開催が危ぶまれるので貴団体と調整したい。ついてはどなたに連絡をすればいいかわからないので教えてください。	つどい登録団体「河内木綿藍染保存会」の原田副理事長に担当者から事情を説明し、相談者に電話をおつなげた。双方の連絡先や名前を確認されたので、以後は直接やりとりをされることになった。 相談者と紹介者(「真砂2町会」と「河内木綿藍染保存会」)は直接のやり取りは行ったが、コロナ禍のため「さくらまつり」を中止する事になったとご報告があった。

(4) 行政

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	マッチング内容・団体・行事等
1	2020-111	2021年 1月6日	●	来年度に校区まちづくり協議会対象の研修の講師を探している。Zoom等でのコミュニケーションやSNSを用いた活動をされている団体を紹介してほしい。	対応者が所属する団体で講師を紹介し、6/9の講座開催時につどいスタッフが各団体の立場から講師として参加した。

○ 地域活動団体の座談会(6/24開催)に取材兼グラフィックレコーダーとして出席(6月)

- ・ 「八尾市自治振興委員会八尾市赤十字奉仕団発足70周年記念座談会」に取材を兼ねて出席。
- ・ 新しい形の情報共有・情報整理ツールとして「グラフィックレコーディング」を提案、当日もつどいスタッフ(武田氏)と元つどいスタッフ(大内氏)の2名が実施し、支援を行った。

○ 「中環の森 井戸端会議」の企画案の作成(11月)

- ・ 中央環状線高架下には「中環の森」があり、大阪府八尾土木事務所が道路の位置付け(モノレールの建設が休止中のため)として「河内木綿の栽培」「菜の花の栽培」「植樹・除草・ビオトープ管理」を各種団体と「アドプトロード協定」を結び、現在、各種団体が「中環の森」で実施をしている。
- ・ 「アドプトロード協定」では、各種団体と結んでいるが、「河内木綿の栽培」「菜の花の栽培」においては協力団体も参画していることや、近年は「美園小学校区まちづくり協議会」も参画していることから、「アドプトロード協定」を結んでいる各種団体及び協力団体が一堂に会して「活動の振り返り」や「課題共有」といった情報共有、「市民主体のまちづくり」といった共通認識を深める事を行うコーディネーターが不在及びコーディネート機能が不全であることから、井戸端会議を開催する企画案を作成した。
- ・ 開催を通じてコーディネーターの必要性及びコーディネート支援の充実を、美園小学校区まちづくり協議会にも含めて支援及び育んで行くことを「つどい」は計画する。

【イ】 先進的な取り組み事例の収集

- 相談対応から取組事例収集へ【八尾で市民基金の立上げ検討のヒアリングを実施】(7月2日)
 - ・ 相談者から、八尾市内版のクラウドジャックもしくは寄附システムの構築をしたいので、協力をして欲しいと相談があった(相談 No.2021-021)。
 - ・ 相談者から先進的な取組事例を紹介してもらい「公益財団法人京都地域創造基金」に下記の項目についてヒアリングを行った。また、基金を立ち上げる時のポイントをご助言いただき、さらに他都市の基金の事例についてもご紹介をいただいた。
 - ・ ヒアリング項目
 - ★ 設立の経過・組織形態、寄附の設計・寄附の立上げ
 - ★ 財団法人立ち上げ時と寄附の中身、関係団体との役割分担
 - ★ 信頼関係の構築(貴財団と寄附募集团体)
 - ★ 情報開示・説明責任による信頼性の構築づくり(認証制度)
 - ★ 地域分権(地域づくり・地域自治)への転換支援
 - ★ 寄附の決済方法と寄附の集め方(人間関係)
 - ★ 寄附募集のプロジェクト件数
 - ★ 2011(平成23)年度の決算の正味財産の増額要員について
 - ★ 寄附獲得の営業について(企業・金融機関・土業)
 - ★ 貴財団の特徴と戦略、寄附募集团体の募集内容・目標額の設定(傾向)
 - ★ 寄附の募集にあたって支援する内容(リスト整理)
 - ★ クラウドファンディング(CF)と基金について
 - ★ 基金の制度設計・設計思想について

- 吹田市及び吹田市立市民公益活動センター「ラコルタ」での地域活動の支援について(11月)
 - ・ 「ラコルタ」では市民公益活動が地域活動も含まれていることから、地域活動の支援として「地域自治組織運営トリセツ」という冊子を作製され情報提供や支援を行っていることがわかった。
 - ・ 吹田市ではインターネットで「自治会」のページを開設し、自治会の基本情報や自治会の作り方、補助金、様式集が閲覧及びダウンロードが出来ることがわかった。回覧されたチラシ等は、吹田市市民自治推進室に提供のあった文書データであれば、「自治会」のページからダウンロードが出来ることもわかった。
 - ・ 「自治会ハンドブック」の発行物ですべてを取りまとめた冊子もインターネットからダウンロード・収集することが出来ることもわかり、吹田市の事例が八尾市よりも先進的な事例として収集することが出来た。
 - ・ 以上の収集内容を基に、「つどいブログ」でも情報発信・提供を行った。

- 吹田市立市民公益活動センター「ラコルタ」訪問(3月)
 - ・ 3/16(水)にラコルタ 吹田市立市民公益センターへ訪問させていただいた。
 - ・ 初めに設立に至った経緯を説明いただき、定例のスタッフミーティングにオブザーバー参加。
 - ・ 最後に施設内の見学を行った。

- 旧植田家住宅の観光案内の取組み及び歴史関連施設間連携について収集(1月)
 - ・ 旧植田家住宅を訪問(1/29)した。議会だよりに掲載していた「市南部の観光案内所の役割を持つ施設としての方針」について情報収集を行った。加えて、他の施設とのつながりづくりとして、歴史関連施設間の連携がコロナ禍で休止している事も情報収集することが出来た。

(2)「つどい」の管理運營業務

①管理運営の時間帯等

○ 月別開館日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 小計
開館 日数	22	22	21	23	21	22	131

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 小計
開館 日数	23	20	20	20	20	22	125

年間	256
----	-----

②管理運營業務の内容

【ア】登録団体の募集・登録・廃止及び登録団体との連絡に関わる業務

- ・ 合計 265 団体

○ 登録団体数の月別登録・廃止状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録団体数	261	261	260	260	260	263	264	265	266	266	266	265	—
登録	0	0	0	1	0	3	1	1	1	0	0	0	7
廃止	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4

【イ】メールボックスの利用団体の募集・受付・廃止及び貸出等の管理業務

年度	利用 団体数	年度	利用 団体数	年度	利用 団体数	年度	利用 団体数
2004 (H16)年度	10	2009 (H21)年度	20	2014 (H26)年度	38	2019 (R1)年度	52
2005 (H17)年度	13	2010 (H22)年度	43	2015 (H27)年度	44	2020 (R2)年度	52
2006 (H18)年度	14	2011 (H23)年度	17	2016 (H28)年度	47	2021 (R3)年度	42
2007 (H19)年度	16	2012 (H24)年度	38	2017 (H29)年度	52		
2008 (H20)年度	17	2013 (H25)年度	44	2018 (H30)年度	47		

※ 平成 16 年度 備考:10 月「つどい」が開設。

※ 平成 24 年度 備考:登録団体情報を印字した各申請書類等の投函サービスを開始。

- ・ 「メールボックス利用登録について(お願い)」を4月16日現在において登録している団体に郵送し、更新依頼を行った。
- ・ 10月より、館内利用時に登録団体情報を印字した各申請書類等を全登録団体対象にサービスを開始した事から、メールボックスを利用していない登録団体にも提供が可能になった。(1月)
- ・ 来年度以降は、印字した各申請書類等の「資料保管」で利用していた登録団体の継続は減少することが予想される(メールボックスを「郵便受け」「情報交換(ノート等)」に特化した利用目的になるため)。(1月)



印刷室にある印刷用紙保管引出

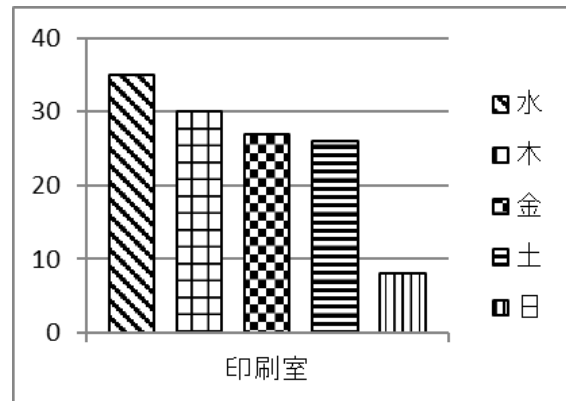
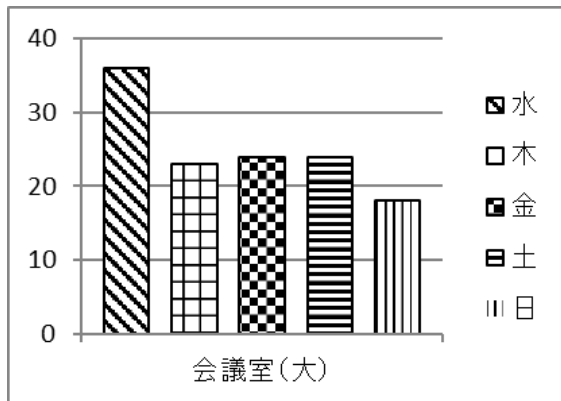
【ウ】 会議室及び備品（印刷機、コピー機）の貸出等の管理・保守業務

○ 会議室・印刷室使用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
（大） 会議室	2021年度	7	0	1	13	6	11	15	13	11	18	15	22	132
	2020年度	0	0	0	0	0	0	18	20	10	12	19	21	100
	2019年度	23	25	26	19	20	21	21	29	24	19	22	0	249
印刷室	2021年度	11	0	4	16	9	11	21	7	10	12	11	23	135
	2020年度	0	0	0	0	0	0	16	14	9	5	9	17	70
	2019年度	29	34	36	30	19	31	33	29	26	25	29	0	321

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
（中） 議室	2021年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2020年度	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	2019年度	20	25	26	25	21	28	27	26	17	22	28	0	265

※ 2017年度から集計方法を変更：印刷室利用の集計は1時間以内の利用も全て集計(カウント)を行い、作業スペースの集計を廃止した。



会議室(大)



印刷室

○ 1階シェアスペース紹介チラシ作成及び広報(8月)

- ・ ブログ(8月13日)・Facebook(8月14日)・Instagram(8月15日)に掲載を実施。
- ・ 掲載内容はP57『★「つどい紹介関連チラシ」及びスキルアップ支援資料の作成』を参照。

○ スマホアプリを使用した部屋利用等の予約対応試験実施(「つどい公式LINE」の試験開設を含む)(11月)

- ・ 現在、部屋利用及び設備利用の予約は、電話・FAX・メール・来館による対応を実施している。
- ・ コロナ禍における非接触での対応及び業務効率化及び利用者の利便性を目的として、スマホのアプリを使用した予約対応を試験的に導入する。
- ・ スマホアプリは、「公式LINE」を試験導入し、名称は「つどい公式LINE」とした。
- ・ 部屋利用等の予約対応の自動返答設定や手順書を作成した。
- ・ 当面は、「つどい」から数団体に「つどい公式LINE」の利用試験に参加してもらい、ご意見を基に改善等を図って行く。

○ 印刷機利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	11	0	4	15	9	9	18	7	10	11	11	21	126
2020年度	0	0	0	0	0	0	15	13	8	5	9	18	68
2019年度	28	34	33	26	17	30	31	25	22	22	25	0	293

○ 紙折り機利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	4	0	0	3	2	0	7	1	1	2	0	4	24
2020年度	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	1	6
2019年度	2	7	0	6	1	6	2	2	4	4	2	0	36

○ その他利用状況（裁断機・ラミネータ・コピー機・パソコン）

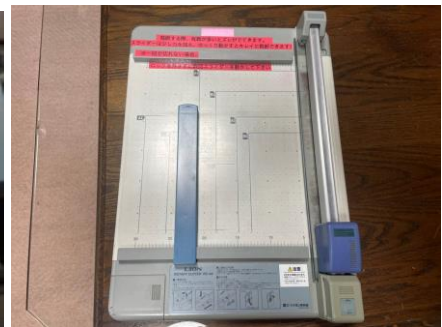
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	0	0	2	3	4	7	18	4	3	2	4	9	56
2020年度	0	0	0	0	0	0	5	9	6	4	3	8	35
2019年度	10	10	4	14	7	13	7	14	11	11	11	0	112



印刷機



紙折り機



裁断機

【エ】 印刷機及びコピー機使用料の徴収・提出業務

- ・ 印刷機：61,425円
- ・ コピー機：1,850円

【オ】 各団体のチラシ、ポスター等掲示物の受付・掲示業務



← 1階館外配架スペース



1階外壁の館外掲示板 →



↑ 1階館内掲示・配架スペース

- 郵便物・登録団体のチラシ、ポスター等持ち込み件数
 - ・ 年間：578件
 - ・ 特殊詐欺の情報収集を元に作成したイラストを活用し独自ポスターを作成、掲示した。(5月)
- 館外配架物の配架部数
 - ・ 年間：2,142部
 - ・ 4月分も含め、配架が完了したチラシ・情報紙の発行元へ配架完了の連絡を実施。(5月)
- ※ 豪雨・暴風の為、8月11日(水)～29日(日)の期間は配架停止。(8月)
- 館外配架物の配架が完了したチラシ、情報誌等
 - ・ 年間：99種
- 館外掲示・展示コーナーの改善・活用(5月)
 - ・ 館外掲示コーナーを「キッカケース」という名称を定めてリニューアルを検討中。
- 館外掲示「つどい日記 Summer！」の作成及び掲示(8月)
 - ・ つどい業務におけるハイライトとしてまとめ、A1ポスターで印刷し掲示を実施(8月26日)。
 - ・ つどいブログ・Instagram(8月29日)に掲載を実施。
- 館内配架コーナーの整理(活動分野別に分類／チラシ掲載スペースの拡大)(9月)
 - ・ 9月23日に整理・レイアウト変更を実施。
- 館内配架コーナーの整理(名刺サイズの配架コーナーの撤去)(11/17)
 - ・ バインダーのファイルに綴じて名刺を閲覧・取り出しが出来るように行う事で、名刺サイズの配架コーナーのスペースの縮小が行える事から、名刺サイズの配架コーナーの撤去を実施した。

【カ】 「つどい」の備品管理業務

- ・ 7月8日に備品台帳一覧表と備品現物と照らし合せ・確認を行い、委託元に報告した。(7月)
- 電子通信機器の物品要求の説明(10/15)
 - ・ 2011(平成23)年度にノートパソコン1台、2012(平成24)年度にデスクトップパソコン1台、2013(平成25)年度にノートパソコン1台を委託元から提供を受けている。
 - ・ 全て8年以上が経過をしており、ノートパソコンはほぼ使用をしていないことや、デスクトップパソコンの動きが悪く業務に支障をきたしていることから、物品要求及び説明を行った。

【キ】 その他、「つどい」の管理運営のため必要な業務

○ 来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度	221	101	115	221	145	208	261	185	203	201	192	326	2379
2020年度	0	0	0	0	0	0	309	258	248	185	238	324	1562
2019年度	519	630	680	543	480	654	660	640	518	548	629	8	6509

○ 開館時間変更に伴う変更(4月)

- ・ つどいパンフレットに記載された開館時間の箇所の貼り替えを実施。
- ・ 入口に表示されている開館時間の変更を実施。
- ・ ホームページに記載されている開館時間の変更を実施。

○ 緊急事態宣言の発出・解除に関する対応(4月～7月)

No.	月	内容
1	4月	●緊急事態宣言発出に伴う、貸館業務休止のお知らせ ・ 4月24日につどいホームページ・つどいブログ・SNSで情報発信。 ・ 予約している団体に休止の連絡を実施。
2	5月	●緊急事態宣言発出に伴う、貸館業務休止延長のお知らせ ・ 延長のお知らせを5月8日につどいホームページ・つどいブログ・SNSで情報発信。 ・ 予約している団体に休止の連絡を実施。
3	6月	●緊急事態宣言発出の延長に伴う、貸館業務休止延長のお知らせ(6月) ・ 延長のお知らせを6月2日につどいホームページ・つどいブログ・SNSで情報発信。 ・ 予約している団体に休止延長の連絡を実施。
4	6月	●緊急事態宣言発出解除に伴う、貸館業務再開のお知らせ(6月) ・ 6月19日につどいホームページ・つどいブログ・SNSで情報発信。 ・ 予約している団体に貸館業務再開の連絡を実施。
5	7月	●8月2日に発出する「緊急事態宣言」における通常開館・貸出のお知らせ ・ 7月31日につどいホームページ・つどいブログ・SNSで情報発信を行った。

○ 気象警報発令時の館内対応(9月)

- ・ 台風14号による暴風警報発令時の閉館対応を想定し、館外掲示物及び館外配架チラシの掲示及び配架を取りやめた(9月17日)。
- ・ 暴風警報発令がなかったため、9月18日は通常通り開館を実施(ホームページ等でも情報発信を実施)。

○ 暮らしのガイドブック掲載用QRコードの提供(10月)

- ・ つどいの紹介ページにアクセス出来るQRコードを提供した。

○ 新型コロナウイルス感染症拡大対策ガイドラインの改定(12月)

- ・ 緊急事態宣言が解除された事で、八尾市のガイドラインの改定に則り、委託元よりガイドライン及び確認書の改定と共有された。

○ 館内1階及び2階の模様替え及び大掃除の実施(12月)

- ・ 緊急事態宣言が解除された事と、若年層スタッフが1階の来館対応・予約対応が出来るようにするため、2階の執務室機能及び人員の一部を1階に戻した(12/1)。
- ・ 2階の事務机・事務椅子等を1階に移動した。1階の執務機能を拡大するため、フリースペースの一部を縮小し、フリースペースの机を印刷室に移動した。
- ・ 大掃除は12/8に実施

○ メダカの壺の被害(3月)

- ・ 3月2日(水)夜にメダカの壺をひっくり返され、排水溝にメダカが流れ込み、複数匹を救出したが1匹だけ生存している。メダカの壺は撤去した。小さなメダカの壺が別にあるが、被害防止のため館内入口内に移動した。

【特記事項】

【6. 組織体制】

○ 人事（アルバイト対応）

No.	月	収集内容
1	4月	・ ボランティアスタッフ1名携わる（武田悠氏）。
2	5月	・ 3名の雇用を開始(山下琴音氏・寄川奈緒美氏・武田悠氏)
3	9月	・ つどいアルバイトスタッフ雇用期間終了→3月末までの雇用期間として契約更新を実施。内1名はボランティアに変更（武田氏）。
4	2月	・ 2月24日につどい登録団体である「学生団体はちのじ」から、「つどい」でアルバイトを希望された（1名）。3月上旬に面接を行う日程調整を実施した。
5	3月	・ 3月2日(水)にアルバイト希望1名(男性)を面接の上、有償ボランティアとして携わってもらい市民活動・市民主体のまちづくりについて、レクチャーを実施。 ・ 他のアルバイトを優先的に取り組みたい意向を示したため、9日付けで終了。

○ インターンシップ対応（NPO 法人ドットジェイピー）

No.	月	収集内容
1	7月	・ 相談 No.2021-022 で対応した「2021 年 夏のソーシャルインターンシップ」で学生を受け入れるためにエントリーを行った結果、委託運営団体が行う事業(つどい委託運營業務を含む)について2名の応募があった。 ・ 内1名については、二次選考会を7月15日に「つどい」にて、委託運営団体・NPO 法人ドットジェイピー・応募した学生の3者で面談を行い、委託運営団体と応募した学生が双方で合意を行った。もう1名は、7月29日に Zoom にて、上記の3者で面談を行った。 ・ インターンシップ期間は、8月～9月までの2か月間。大学1回生の2名(男性・女性の各1名)を受け入れた。
2	8月	・ 「201 年 夏のソーシャルインターンシップ」で受入2名の内、1名（関西学院生：米山太郎氏）の対応を開始。 ・ オリエンテーション・情報提供として、市民活動・NPO のお話(8月19日)、つどいの役割・地域分権のお話(8月20日)を実施。情報提供を基に、事業立案作業を実施(8月26日・8月29日)。
3	9月	・ 「2021 年 夏のソーシャルインターンシップ」で受入2名の内、1名（近畿大学生：鈴木真鈴氏の対応を開始）。 ・ オリエンテーション・情報提供として、新しい公共までの流れ・市民活動の必要性のお話・つどいの役割と意義、協働の意義と背景のお話（9月4日）を実施。お話による情報提供を基に、事業立案作業を実施。またその相談・意見交換など対応した（9月12日・9月15日）。 ・ 9月4日は、午後からのお話でスタッフ1名（山下）も同席し学習。
4	10月	・ 「2021 年度 夏のソーシャルインターンシップ」で受入れた大学生から事業立案のプレゼン発表と意見交換を実施(10/7)
5	11月	・ 「2021 年度 春のソーシャルインターンシップ」でも1名以上を受入れ。 ・ これは前回、受け入れた大学生から提案のあった事業立案について、引き継いでくれる学生を募集する事を主にして行く。「つどい業務」の体験等も検討する。
6	2月	・ 「2021 年度 春のソーシャルインターンシップ」でインターンシップ生2名（男性1名・女性1名）を受け入れた。ひとりひとりに「インプットマンツーマン」として「市民活動」「市民主体のまちづくり」「中間支援」及び左記の導入部分のレクチャーを行った。
7	3月	・ 事業立案とつどい業務体験及び近隣での市民活動団体の活動先の見学等を行った。年度明け4月1日にインターンシップ対応の修了として振り返りを行う予定。

○ 業務及び職員体制における現状と課題・職員募集の検討

No.	月	収集内容
1	1月	<p>●つどい業務における職員体制の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つどい業務（中間支援業務）において仕様書に照し合せると、従来から「情報収集・情報提供」の改善を続けて強化・充実している中、「社会貢献活動等の支援業務」及び「多様な主体による連携・協力促進」の強化及び充実が引き続き必要である。 ・ 11月及び12月に上記について「つどい業務」の委託契約最終年度の「めざす姿・状況」の提示、今年度後期及び来年度の「目標・到達点」について委託元との話し合い・協議を行った。 ・ 今年度は、校区まちづくり協議会を中心としたスキルアップ支援が活発になって来ていること、来年度以降を見据えてスタッフ自身のスキルアップの必要性が出ている。 ・ スキルアップの内容は、中間支援自身のスキルアップ及び Zoom・LINE 以外のツール関連のスキルアップである。 ・ 「多様な主体による連携・協力促進」の強化及び充実においては、八尾市内外問わず他の中間支援組織・施設との情報交換や事例収集を行う事が方策だと考えられる。 ・ 加えて前記でのスキルアップにおいても、八尾市内外問わず他の中間支援組織・施設との情報交換や事例収集及び講座講師・研修講師の招聘を行う事が方策だと考えられる。 ・ 以上から、八尾市内外問わず他の中間支援組織・施設から講座講師・研修講師の招聘等を行い、①校区まちづくり協議会等へのスキルアップ講座の講師派遣、②つどいスタッフのスキルアップを図る内部研修、加えて③八尾市内外問わず他の中間支援組織・施設との情報交換及び事例収集の3点が業務として取り組むことになる。 ・ しかし、左記3点を多岐に渡って業務を遂行するには、現在の組織体制ではマンパワーとして取り組むことが難しい。 ・ 前記の内、前記②と前記③を兼ねて、つどいスタッフを八尾市内外問わず他の中間支援組織・施設へ訪問・見学、またインターンとしてのスタッフ体験や出向し従事するなど人事交流で効率化・合理化を図ることも考えられる。しかし、効率化・合理化を図っても、現在の組織体制では「つどい」館内におけるスタッフの駐在が難しい点もある。 <p>●職員募集の検討及び募集要項(案)の作成(検討までの経緯を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の現状と課題から、将来はフルタイム社員を望むアルバイト（パートタイム）のスタッフ募集要項（案）を素案として作成した。 <p>●職員募集における採用・要項の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職・パート等の採用制度等において八尾市労働支援課に問合せた。無料職業紹介所の開催、ハローワークへの事業所情報登録及び求人情報の登録の上、八尾市の制度等を活用できる事を収集した。 ・ 次にハローワーク・行政の制度以外で職員募集の事例を八尾市外の NPO 法人から収集した。 ・ 吹田市立市民公益活動センター「ラコルタ」（指定管理者：NPO 法人市民ネットすいた）のフルタイム職員募集のお知らせと募集要項をホームページから収集。 ・ 特定非営利活動法人キーアセットの応募要項に加え、仕事内容紹介・勤務の上での指針・スタッフ行動規範・採用までの流れをホームページで公開。雇用形態はフルタイム・パートタイムの両方の募集であった（営業のリクルーターという職種はフルタイムのみの募集）。

○ 職員の福利厚生（退職金共済制度）

No.	月	収集内容
1	1月	<p>●特定退職金共済制度の情報収集及び導入の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員募集の採用・要項の事例収集時に、特定退職金共済制度を知り、情報収集を行った。 ・ 事業者が従業員のために掛け金を掛け、退職時に退職金を従業員に支給する福利厚生である。 ・ 資金調達が難しい市民活動の世界でも、従業員の確保を考え、安心して働くことが出来る環境整備を考え、かつ法人の財政的においても委託事業で会計執行が可能かも含め情報収集した。 ・ フルタイム社員が、来年度4月1日で雇用期間が3年を超える事、将来、退職する場合があっても、本人の自己責任に加え、退職後の起業資金・生活資金といった選択肢を法人側が共助の立場から提供する事も役割ではないかと思い情報収集と導入の検討を行った。 ・ つなぎ役の立場である以上、「人を大切にする」という根本的なコンセプトに基づいた法人の思想・思考の模索・醸成の機会としても検討を行った。
2	3月	<p>●中小企業退職金共済制度の申請を決定(常勤スタッフの福利厚生の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者が従業員のために掛け金を掛け、退職時に退職金を従業員に支給する福利厚生として申請を決定した。 ・ 当初は特定退職金共済制度を検討したが、ホームページで制度の詳細等の情報が公開されている中小企業退職金共済制度に申請することに変更を行った。

○ 「八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例評価委員会」の委員選出(世代交代の実現)(1月)

- ・ 2016（平成28）年度から5ヵ年度が経ち評価委員会を開催するにあたり、男女共同参画の視点から女性の選出を求められた事と、若年層の委員が少ない事から、若年層のつどいスタッフを選出した。加えて、委託運営団体の組織内における若年層へ世代交代を行う事が出来た。

【7. 業務報告及び評価(マネジメントサイクル)】

○ 様式・雛型変更(4月)

- ・ 業務日誌の様式変更(集計表の改善を実施)
- ・ 仕様変更に伴う月報雛型の変更を実施

○ 今期の委託契約期間(令和3年度～令和6年度)から仕様書が改定(5月)

- ・ 仕様書改定のため、これまで使用していた「業務報告及び評価」の方法は「目標別PDCAサイクル」であったが、仕様書に定めていた目標が撤廃されたため、「対象者別における支援のPDCAサイクル」に改定する。
- ・ なお、校区まちづくり協議会における活動支援については、仕様書2における3目(対話の場の創出支援・多様な主体の連携支援・活動効果の検証支援)に分けて業務報告及び評価をまとめていく。

○ 独自指標の相関関係の検証(11/24)

- ・ 「館外配架コーナーの配架枚数」を毎月集計している。
- ・ 「相談件数」との相関関係がないか検証を行った。
- ・ 相関関係の検証を行った結果、相関係数は0.60となり正の関数があることがわかり、「館外配架コーナーの配架枚数」が増加すると「相談件数」の増加にも影響する事が検証された。
- ・ 今後も独自指標として相談業務で「集客・来館」するひとつの要因として「館外配架コーナーの配架枚数」の集計を行う。また他の要因がないかも探って行き、指標化していく事も視野に入れたい(「つどい登録団体紹介ページ」のホームページ閲覧数・知り合い等の照会)。
※ 相関係数は1.0が最も大きい係数であり、最も小さい係数が-1.0である。0.4より大きく0.7までは正の関数と言ひ、0.7より大きいと正の関数が強いと言われる。マイナスは負の相関である。

○ つどい登録団体の登録・廃止の考え方・認識の共有及び確認(3月)

- ・ NPO法人解散前に「つどい登録団体」を廃止した旨があった場合、これまでは解散後に廃止手続きを行ってもらうようにご案内をしていた。
- ・ しかし、希望すればいつでも登録が出来、また廃止が出来る取り決めである事を委託元と確認・共有し、今後はそのように改めることになった(誰もが参画出来る意味での公益性として考えれば、受託団体の業務責任者の認識違いであり、取り決めを誤って解釈していた)。

○ スタッフミーティングの実施

- ・ つどいスタッフが新体制になり、スタッフミーティングを定期的を開催した。
- ・ 毎月定例による開催は、3月をもって終了する。
- ・ 来年度からは案件毎につどい LINE で呼びかけ、案件に携わるスタッフ同士で集まり話合う事になった。

No.	日付	内容	備考
1	4月25日(日)	・ 今後のつどい発信の掲示物について	
2	6月6日(日)	・ 施設訪問の実施目的の確認と統一化の必要性について ・ 相談業務について(新しいスタッフへのレクチャー)	7月14日校区まちづくり協議会研修会「Zoom研修会」についての共有(相談No.2020-111)。
3	7月3日(土)	・ 共有した業務内容の活用状況について ・ 検討内容の具体的なタスクスケジュールの必要性について ・ つどいのターゲットの絞り方について	4月のミーティングで検討していた「キッカケース」内の掲示物についてのすり合わせ。
4	8月1日(日)	・ 施設訪問時期の検討 ・ 取材記事の作成期間について ・ 8月からのインターン生について共有	つどいのターゲットの絞り方についても引き続き検討を行った。
5	9月5日(日)	・ スタッフ間の取材スケジュールの情報共有の方法について ・ 山本コミセンスマホ・オンライン講座依頼について共有	旧植田家住宅の取材方法にインスタグラムの新機能活用を検討(インスタグラムのリール機能を実施)。
6	10月3日(日)	・ 館内外の掲示や配架コーナーについて ・ 防犯カメラの今後の取り扱いについて ・ 登録申請用紙の様式変更について共有 ・ 月報、相談内容の共有方法について	9月22日志紀小まち協 Zoom 研修会についての共有(相談No.2021-043)
7	11月12日(日)	・ 執務室のレイアウト変更について ・ 施設訪問の現状報告と今後について ・ 新規登録団体(5団体)について ・ スマホ・オンライン講座の報告 ・ つどい公式 LINE 運用の提案	南山本地区福祉委員会と山本地区自治振興委員会の防災イベントチラシについての共有。 インターンシップの事業立案の内容の共有。
8	12月12日(日)	・ 施設訪問の今後の予定の共有 ・ 他都市センターとの協働(スタッフの育成、出張)について ・ 委託元との話し合い内容の共有	ガイドラインの改定とそれに伴う確認書やチェック表の修正内容の共有。 PC(webカメラ)の購入、めだか壺入替、執務室のレイアウト変更箇所等の共有
9	1月9日(日)	・ 施設訪問の報告 ・ 依頼内容の共有 ・ コミスタ会議出席時の報告 ・ 相談記録シートの更新内容の共有	つどい公式 LINE のモニター結果から扱いの検討。
10	2月6日(日)	・ ワークショップと講座の報告 ・ ブログ投稿からつながった団体加入の報告(在宅傾聴ボランティア・ボランティアやお“わかば”)	自治振70周年イベントの報告。 次回コミスタ会議に向けた提案書作成に関する相談と共有。 つどい井戸端会議での様子を報告
11	3月5日(土)	・ 次年度のスタッフミーティングの開催及び形式について ・ 山本コミセン QRコード・Google フォーム講座の報告	校区まちづくり協議会成果報告会チラシに関する共有。

※ 毎回、各スタッフより、先月及び今月の業務内容及び業務報告を共有している。

(3) 行政評価・運営評価に関する必要資料作成・説明協力(6月、7月、8月)

- 八尾市市民活動支援基金事業助成金に関する相談対応の資料提供・説明協力(5月14日・19日)
 - ・ 「八尾市市民活動支援基金事業助成金」に関する相談が4月及び5月に計6件の相談があった(相談業務で対応)。
 - ・ 委託元であり、上記助成金の応募元である八尾市コミュニティ政策推進課には、上記6件の相談内容と対応について説明した。また説明時に、相談記録シートの提供を行った(詳細は、5月分月報のマネジメントサイクルを参照)。
- 八尾の芸術文化振興に係るヒアリング調査への対応(6月24日)
 - ・ 八尾市は、今年度に「八尾市芸術文化振興審議会」を設置し、「芸術文化振興に関する条例」の制定及び次期「八尾市芸術文化振興プラン」の策定を進めるにあたり、芸術文化に関わる団体等の現状や課題、関係団体の方々への取組みや課題についてヒアリング対応を行った。
 - ・ 近年の「八尾市芸術文化振興プラン推進市民会議」において、つどい委託運営団体として芸術文化の活動分野においても中間支援の考え方や「つなぎ役(中間支援機能)」の必要性を提供して来たことから、関係団体の方々への取組みや課題のヒアリング対象となった。
- 出張所、各地域の周辺施設等の訪問(7月21日)
 - ・ 施設訪問を行うにあたり、委託元に趣旨説明と訪問予定の施設についての情報共有を実施。
- 「八尾市障がい者基本計画」における障がい者対象に取組む「つどい登録団体数」の説明協力(8月4日)
 - ・ 「八尾市障がい者基本計画」を作成する部署から委託元に照会があり、「八尾市障がい者基本計画」に掲載される障がい者を対象に取組む「つどい登録団体数」について問合せがあった。
 - ・ 委託元と話し合いの上、主たる活動分野の内「保健・医療・福祉」と「子ども健全育成」に該当する団体から洗い出しを行った。
 - ・ 結果、「保健・医療・福祉」が19団体、「子どもの健全育成」が4団体あり、合計23団体が該当すると報告した。また該当する団体の開示された登録情報も参考資料として提出した。
- 議会・委員会对応の説明協力(9月29日)
 - ・ 2019(令和元)年度に開催した「つどいのNPO法人相談会」について、委託元から説明を求められた。個別相談件数の案件及び参加したNPO法人名と任意活動団体名を説明した。
 - ・ 2020(令和2)年度に情報提供した【「コミュニティ推進スタッフ会議」にて、出張所訪問及び地域活動団体への情報収集から地域分権に関する特徴的な点を情報提供】について、提供内容の一部に不明点があったことから、委託元から説明を求められた。例示内容が新しく動き出す例示であったことが誤解を生んでいたことに、お詫びを行い再度説明した。
 - ・ 2020(令和2)年度に対応した「婚活イベント」の相談について、委託元から説明を求められた。久宝寺小学校区まちづくり協議会と顔合せを行った経緯や相談者の情報を説明した。
- 従来から取り組んでいる業務の経過説明(10/10)

下記の取組みについて、人事異動にともない委託元の現在の担当者には経過を知らないことから、月報に下記の業務について解説として説明文を盛り込んだ。

特に、校区まちづくり協議会との協働状況(マッチング→連携実施→地域活性化や活動資源の促進)の深まり具合を共有化することを目的として作成し説明を行った。

 - ・ 中環の森で共催している「つどい体験会」について
 - ・ 山本コミセンラウンドテーブルについて
 - ・ 【なつやすみ子ども講座 オリエンテーション「ボランティアについて」】の講師派遣
 - ・ プリズム運営ネットワーク会議(2月に追加作成)
- 登録廃止申請(87団体)の分析について【情報・資料提供】(10/27)
 - ・ 2020(令和2)年度の年間業務報告書の中で、登録廃止申請の分析実施を行ったことから、委託元から資料提供の依頼があり、「登録状況の推移(年度別)」及び「各年度に登録した団体の経過」の資料を提供した。
 - ・ 「各年度に登録した団体の経過」の資料については、年度別で、①「新規登録数」②「臨時休館までに廃止した団体数」③「開館再開後に廃止また廃止申請をした団体数」と②及び③の「廃止率」とそれらの比較について分析した情報を提供した。
- 委託元との「つどい業務」に関する話し合い・協議(11/18・11/24・12/3)

今年度下半期の「具体的な取組み」と来年度の「目標・到達点」について話し合い・協議を

行った。また、話し合い・協議にあたって、委託元より委託契約最終年度にあたる令和 6 年度の「市が求めるめざす姿・状況」の提示案もあり、確認・協議を行った。

【12. 新型コロナウイルス感染症対策について】

- ・ P82『【キ】 その他、「つどい」の管理運営に付随する業務』を参照

【13. 仕様書に定めのない協議事項】

- ・ 5 月 20 日にコミュニティ政策推進スタッフとつどいとまち協との今後の対応やあり方について村上参事等と意見交換。
- ・ 11 月及び 12 月に「つどい業務」の委託契約最終年度の「めざす姿・状況」を委託元から提示及び今年度後期と来年度の「目標・到達点」について、委託元との話し合い・協議を行った。

【参考資料・参考閲覧】

- ・ 「つどい登録団体」→[つどいホームページ](#) [「つどい登録団体紹介」](#)
- ・ 「つどいの情報発信」→[「つどいホームページ」](#) 及び [「つどいブログ」](#) 及び [「つどい Face book」](#) 及び [「つどいツイッター」](#) 及び [「つどい Instagram」](#)